

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 —教室年報：2023—

Department of Gastroenterological,
Breast and Endocrine Surgery
Annual Report 2023



須佐ホルンフェルス（萩市）



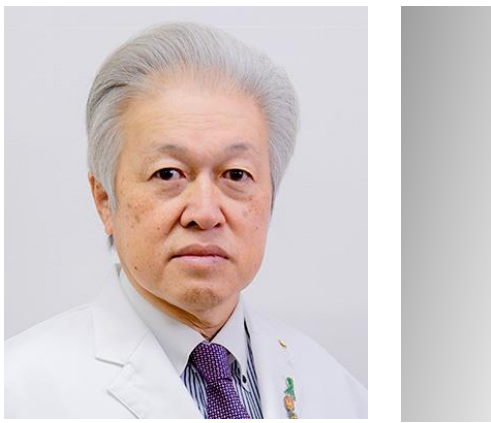
*Department of Gastroenterological,
Breast and Endocrine Surgery
Annual Report 2023*



Contents

Page 1	巻頭言	教授	永野浩昭
Page 4	教室人事	医局長	飯田通久
Page 7	臨床報告（入院）	病棟医長	飯田通久
Page 8	臨床報告（外来）	外来医長	前田訓子
	臨床報告（各グループ）		
Page 9		上部消化管グループ	
Page 12		下部消化管グループ	
Page 15		肝胆膵グループ	
Page 21		乳腺・内分泌グループ	
Page 23		腫瘍センター	
Page 24	教室関連研究会開催	報告	
Page 28	業績報告		
Page 29		英文論文	
Page 33		和文論文	
Page 34		国際学会発表・司会	
Page 35		国内学会発表・司会	
Page 43		地方会発表・司会	
Page 47		研究費取得状況	
Page 48		業績その他	
Page 51	Clinical and Research Conference	記録	
Page 52	研究者発表会議	記録	
Page 53	学位取得者報告		
Page 56	新入局者あいさつ		
Page 57	2023年 在籍教室員		
Page 59	学会専門医・指導医・評議員リスト		
Page 61	2023年 年間行事		
Page 80	編集後記		





巻頭言

山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 教授

永野 浩昭

Hiroaki Nagano

巻頭言

2023年は、WBCでの日本代表の優勝や大谷翔平選手の日本人大リーグ初の本塁打王や、将棋の藤井聡太氏の史上最年少八冠など、若い世代の活躍で日本中が勇気づけられた1年であった。また、個人的には、阪神タイガースが38年ぶりの日本一を成し遂げ、単身赴任のマンションで夜中に一人絶叫して喜んだ経験ができた年でもあった。

その中で、長期化したCOVID-19感染は、ようやく2類から5類相当へとその対応も変化し、病院においては、その診療状況は少しずつ昔の状況に戻りつつあり、医学部においては教育体制も病院実習での制限がようやく解除された。教室員にとってのいろいろな対外的活動も、日常に戻っていった1年であったと思う。そんな目で見てみると、今年の年報の写真の中のマスクの姿も、後半になるにつれて少なくなっているような気がする。さて、2024年はいよいよ、日本消化器外科学会総会を下関で主催する。夏の暑い中での開催になることが予想される。COVID-19感染から解放され、改めて、下関で「集い」そして、消化器外科学の未来に向けて、その思いを「紡ぐ」ことができるのかどうか、ひよっとすると、それは、なによりも天気にかかっているのかもしれない。

天候だけは、努力では、なんともなりません。
神様、何卒よろしく願ひいたします。



2020年春、緊急事態宣言直前の大阪梅田（左）と新大阪駅（右）。土曜日の昼にも関わらず、人が全くいなくて不思議な感じすらする。今では、とても考えられないコロナ下の風景。



医局員一同

(2023年4月1日時点)



矢ヶ部朗

藤原康弘

濱崎太郎

木村祐太

堤甲輔

太田啓介

徳久晃弘

西田裕紀

兼定弦

鍋屋まり

山本常則

松井洋人

田島邦弘

西山光郎

渡邊裕策

友近忍

小佐々貴博

徳光幸生

新藤芳太郎

中島正夫

中島千代

周山理紗

前田訓子

鈴木伸明

井岡達也

永野浩昭

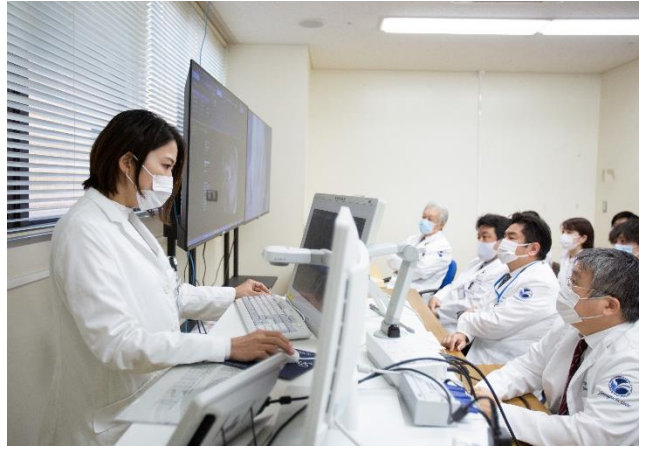
武田茂

恒富亮一

飯田通久

日常の風景

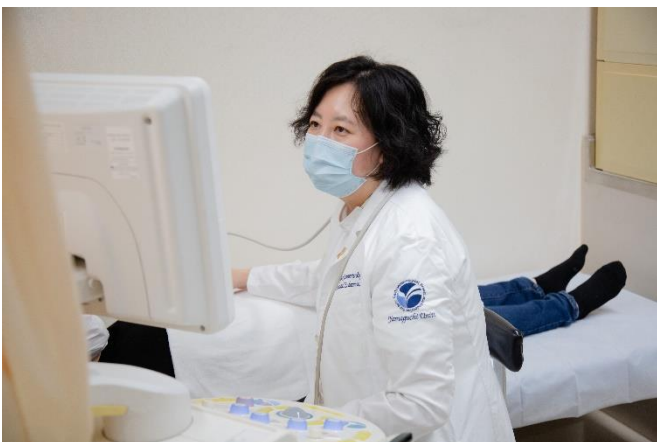
カンファレンス風景



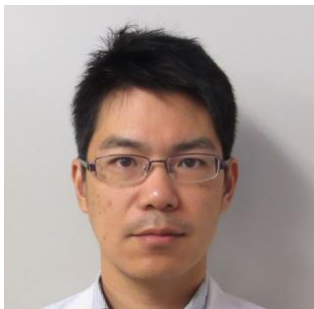
病棟回診風景



外来風景



教室人事



山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 医局長

飯田 通久

Michihisa Iida

医局長を務めさせて頂いておりますH11年卒の飯田です。令和5年1月から12月の大学関連の人事異動は以下の通りです。

大学からの転出者ですが、令和5年4月1日付で、H22卒の山田健介先生が小野田赤十字病院へ赴任しました。山田先生は井岡先生のもとで癌化学療法を中心に精力的に仕事をされておりました。今後は夢であった緩和ケア専門医を目指されるとのことですが、引き続き県内のがん診療の現場で活躍してくれるものと思っております。H25年卒の兼定航先生が当科より川崎医科大学消化器外科に赴任いたしました。兼定先生は大腸外科を専門としており、川崎医科大学でも大腸外科のスタッフとして半年間多くの症例を経験し、令和5年10月に宇部興産中央病院に戻ってきております。またH25年卒の古谷圭先生が当科より宇部興産中央病院医員として赴任いたしました。古谷先生は肝胆膵外科を専門としており、令和5年10月には川崎医科大学肝胆膵外科に赴任となっております。またR2年卒の梅野紘希が宇部興産中央病院に赴任しております。梅野先生は何事にも積極的で、宇部興産中央病院でもフットワーク軽く活躍してくれております。

また10月1日付でH7年卒の鈴木伸明先生が当科から市立八幡浜総合病院に赴任されました。鈴木先生は下部消化管チームのチーフとして活躍され、ロボット手術の導入など山口県の大腸外科発展に尽力されました。また医局長、病棟医長と教室の要職を長く勤められ、教室幹部として教室を長きにわたり支えていただきました。今後は新天地でもご活躍いただけるものと確信しております。またH25年卒の徳久晃弘先生がセントヒル病院に赴任しております。セントヒル病院では外科部長として手術や化学療法など大学の支援業務も含め活躍してくれております。

帰学者および新入局に関してですが、令和5年4月1日付けで、H22年卒の木村祐太先生がセントヒル病院から診療助教として帰学しました。前任地での1人外科部長としての経験から外科医として非常に成長しており、大学病院でも肝胆膵外科を専門に定め、奮闘しております。H29年卒の濱崎太郎が八幡浜総合病院から、堤甲輔が下関医療センターから大学院入学にむけて帰学しました。両名ともすでに高い臨床力があるところを見せてくれておりますが、大学院での研究を経て、高い視点と広い視野をもった消化器外科としてこれからのさらなる成長が期待されています。

また令和5年10月1日付けで、H20年卒の田中宏典先生がセントヒル病から当科に診療助教として帰学しております。田中先生は川崎医大大腸外科で豊富な臨床経験を積んでおり、下部消化管チームの一員として活躍が期待されております。

新入局員は、H22年卒の周山理紗先生、H30年卒の木下雅仁先生、R3年卒の小畑裕一先生、山谷 優明 先生の計4名となっております。周山理紗先生は日立総合病院から当科に入局・赴任されましたが、乳腺外科の専門医で乳腺班の即戦力として大活躍しております。また木下先生は関谷外科胃腸病院から当科に入局され、宇部興産中央病院に赴任となっております。小畑裕一先生、山谷 優明 先生は入局後それぞれ都志見病院、徳山中央病院に赴任となっております。入局者の4名とも真摯に仕事に取り組んでおられるとのことで、今後の活躍を期待しております。その他、詳細につきましては人事表をご参照いただけましたら幸いです。

関連病院の先生方には人員不足でご迷惑をおかけしていますが、医局員一同入局者を増やす努力を続けていますので、今後ともよろしく願いたします。

関連病院人事異動 (令和4年(2022年)1月1日から12月31日)

異動日	卒年	氏名	異動元	異動先
令和5年4月1日	S58	林 弘人	関門医療センター	退職
"	S63	久保 秀文	宇部興産中央病院	退職
"	H01	田中 昭吉	美祢市立病院	萩市民病院
"	H08	的場 勝弘	市立八幡浜総合病院	退職
"	H11	為佐 路子	小野田赤十字病院	柴田病院
"	H16	橋本 憲輝	宇部興産中央病院	退職(開業)
"	H20	田中 宏典	川崎医科大学	セントヒル病院
"	H22	木村 祐太	セントヒル病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
"	H22	藤原 康弘	小野田赤十字病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
"	H22	山田 健介	山口大学消化器・腫瘍外科学	小野田赤十字病院
"	H25	兼定 航	山口大学消化器・腫瘍外科学	川崎医科大学
"	H25	古谷 圭	山口大学消化器・腫瘍外科学	宇部興産中央病院
"	H29	濱崎 太郎	市立八幡浜総合病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
"	H30	酒井 豊吾	都志見病院	関門医療センター
"	H30	佐伯 晋吾	山口大学消化器・腫瘍外科学	関門医療センター
"	H30	尤 曉琳	徳山中央病院	萩市民病院
"	H31	金城 尚樹	宇部興産中央病院	市立八幡浜総合病院
"	R02	梅野 紘希	山口大学消化器・腫瘍外科学	宇部興産中央病院
"	R02	木原ひまわり	関門医療センター	都志見病院
"	R02	佐藤 哲也	徳山中央病院	下関医療センター
"	R02	原口 大希	都志見病院	徳山中央病院
"	H22	周山 理紗	入局(日立総合病院)	山口大学消化器・腫瘍外科学
"	H30	木下 雅仁	入局(関谷外科胃腸病院)	宇部興産中央病院
"	R03	小畑 裕一	入局	都志見病院
"	R03	山谷 優明	入局	徳山中央病院
令和5年10月1日	H07	鈴木 伸明	山口大学消化器・腫瘍外科学	市立八幡浜総合病院
"	H20	田中 宏典	セントヒル病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
"	H25	徳久 晃弘	山口大学消化器・腫瘍外科学	セントヒル病院

臨床報告（各グループ）

入院

外来

各グループ

上部消化管

下部消化管

肝胆膵

乳腺・内分泌

腫瘍センター



樹齢350年以上 南明寺の糸桜（萩市）

臨床報告 (入院)



山口大学大学院医学系研究科
 消化器・腫瘍外科学 病棟医長

飯田 通久

Michihisa Iida

2023年の入院診療につきましてご紹介致します。

2023年の年間手術件数は698件で前年と比して微増となっております。鏡視下手術は420件(60.2%)で、乳腺を除くほぼすべての臓器で低侵襲手術が行われております。ロボット手術は食道切除術、胃切除術、肝切除術、膵切除術、大腸切除術で導入されており、2023年は75例のロボット手術が施行され、年々増加傾向にあります。

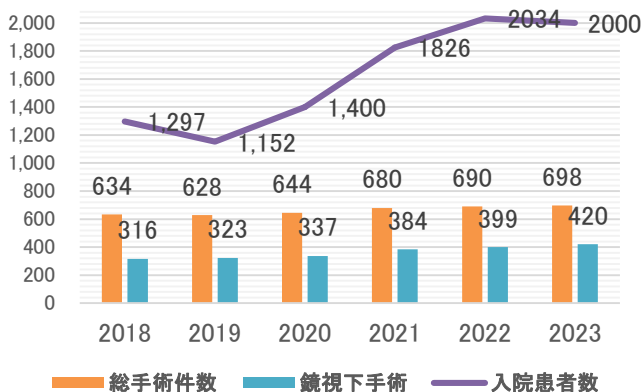
2023年の入院患者数は延べ2000名、病床稼働率96.0%、平均在院日数8.4日でした。入院に関しては入院化学療法を積極的に行っており、化学療法の短期入院が平均在院日数の低下および病床稼働率に大きく貢献していると思われます。また病院全体で行っていた病棟改修工事も2024年3月に終了し、病棟はB棟5階のワンフロアすべて消化器・腫瘍外科で58床に増床されました。

当科では、上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺内分泌の4グループと腫瘍内科による専門診療体制をとっています。

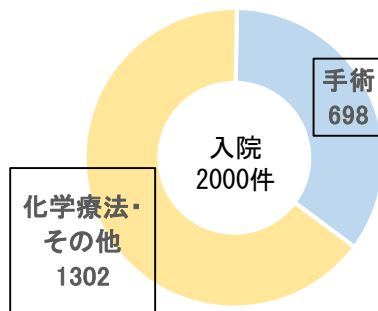
上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺内分泌の各グループはそれぞれ新患、術前患者、術後患者について毎週カンファレンスを行っており、最新の知見に基づいたがん診療を行っています。特に近年は手術に加え術前化学療法や術後化学療法も含めた集学的治療の有効性が各がん腫で示されていますが、当科でも各班カンファレンスに化学療法チームが参加することで集学的治療を積極的に推進しております。またハイリスク症例も多く、各班カンファレンスに加えて医療安全の観点からM&M (mortality & morbidity) カンファレンスも定期的に行い診療科全体での情報共有を進め、医療の質の向上を心掛けています。

今後も高度で安全な医療を提供できるようスタッフ一同努力致しますので、益々のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

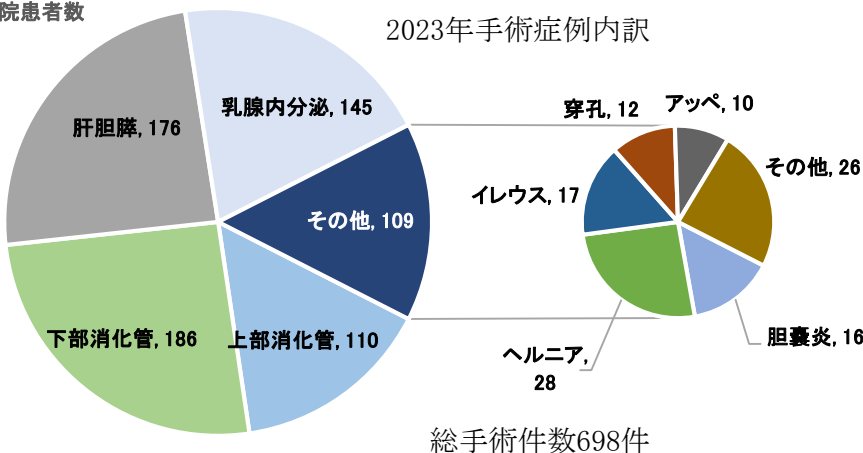
入院・手術患者数推移 (2018-2023)



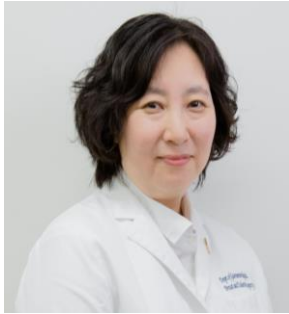
2023年入院患者内訳



2023年手術症例内訳



臨床報告 (外来)



山口大学大学院医学系研究科
 消化器・腫瘍外科学 外来医長

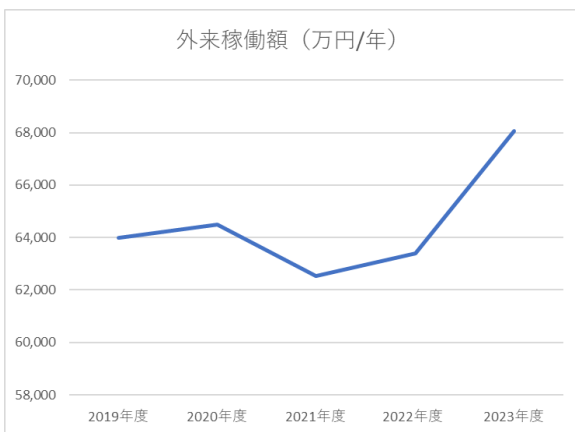
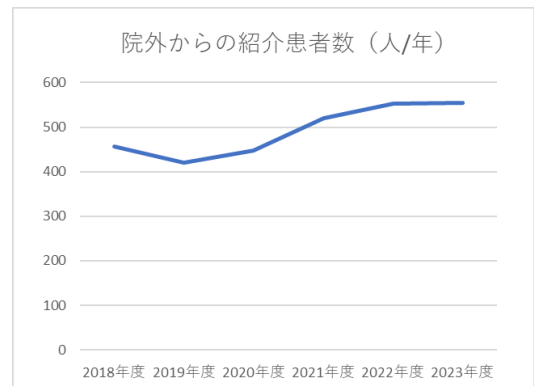
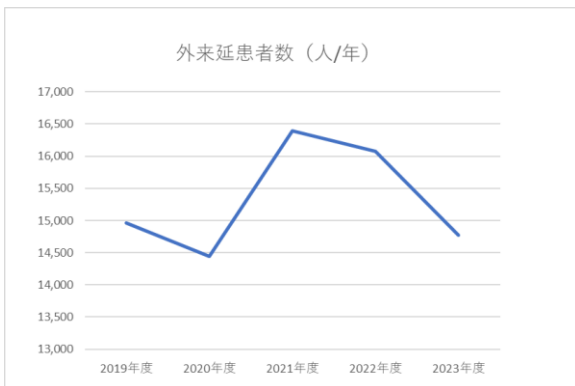
前田 訓子

Noriko Maeda

当科の外来診療の近況につきましてご報告いたします。2024年4月からの体制として御紹介いただいた患者さんの初診は、各診療グループ(上部消化管(飯田通久医師、渡邊裕策医師)、下部消化管(友近忍医師)、肝胆膵(永野浩昭教授、高橋秀典医師)、薬物療法(井岡達也医師)、乳腺内分泌腺(前田訓子))が担当しています。治療方針は、院内のキャンサーボードおよび当科のグループカンファレンスを経て決定されます。またご紹介患者さんのほぼすべての方に事前予約いただいております。初診スタッフの準備が整った状況で患者さんの受診をお待ちすることができています。緊急を要する患者さんのご紹介に関してはこの限りではございませんが、スムーズな外来診療のためにも引き続き事前予約をお願い申し上げます。

過去5年間の外来関連データを下記にお示しします。コロナ禍も終息し、院外からの紹介患者さんは増加傾向にあります。外来延べ患者数は15,000人前後で推移しており、外来診療収入額は化学療法患者の増加により、高い水準を保っています。腫瘍内科との協力体制の継続により局所進行症例に対して集学的治療を行う症例も増えています。

今後もより質の高い診療を提供するとともに、山口県における高難度手術の集約化に努めて参ります。皆さまからの益々のご指導ご鞭撻を賜ります様、お願い申し上げます。



外来診察初診担当医

専門名	火	金
肝臓・胆道・膵臓	永野 浩昭	高橋 秀典
上部消化管	渡邊裕策	飯田通久
大腸・肛門	友近 忍	友近 忍
乳腺・甲状腺	前田 訓子	前田 訓子

月・水・木は外来担当番医による初診対応を行っています

上部消化管グループ

スタッフ

武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、
西山光郎、中島千代、山本常則



上部消化管グループは令和5年4月より武田、飯田、渡邊、西山、中島、山本のメンバーで食道・胃疾患の診療を行っています。2023年の新規患者は132例、手術は105例で大半が食道癌、胃癌の症例です。当科は日本食道学会食道外科専門医施設や日本胃癌学会認定施設Aの認定を受けており、専門医による最新の治療体制を整えています。内視鏡技術認定医も3名が在籍し、通常の内視鏡下手術に加えてロボット支援食道切除術やロボット支援胃切除術を積極的に導入して低侵襲で安全な手術を目指しております。最近増えている食道胃接合部癌でもそれぞれの専門性を生かしてロボット支援噴門側胃切除や胸腔鏡を併用した切除・再建などの機能温存と根治性を目指した手術も行っています。進行・再発症例に対しては、腫瘍センターと連携して最新のエビデンスに基づく抗がん剤や免疫チェックポイント阻害剤による治療を行い、術前化学療法、術後補助療法も含めて包括的ながん治療を提供できるように心掛けております。

令和5年診療研究情報報告

入院患者数

疾患名	患者数
食道疾患	63例
食道癌	59例 (94%)
胃管癌	2例 (3%)
特発性食道破裂	2例 (3%)

胃疾患	患者数
胃癌	69例 (86%)
GIST	5例 (6%)
十二指腸腫瘍	2例 (3%)
イレウス・内ヘルニア	3例 (4%)
その他	1例 (1%)

手術症例数

疾患名	患者数	術式	症例数内訳
食道癌	29例 (74%)	ロボット支援食道切除術	16例
		胸腔鏡下食道切除術	13例
食道癌関連	8例 (21%)		
胃管癌	1例	胸腔鏡下胃部分切除	1例
下咽頭癌	3例	遊離空腸再建	3例
頸部リンパ節再発	1例	右頸部郭清	1例
腹部リンパ節再発	1例	腹腔鏡下小弯LN郭清	1例
術後呼吸不全	2例	気管切開術	2例
食道癌腹膜播種	1例	審査腹腔鏡	1例
術後出血	1例	止血術 (腹壁)	1例
その他疾患	2例 (5%)		
食道破裂	2例	腹腔鏡下食道縫縮術	2例
合計	39例		合計 39例

疾患名	患者 (%)	術式	症例数内訳
胃癌	60例 (86%)	腹腔鏡下幽門側胃切除術	17例
		腹腔鏡下胃全摘術	6例
		腹腔鏡下噴門側胃切除	4例
		開腹幽門側胃切除	2例
		開腹胃全摘術	2例
		ロボット幽門側胃切除術	14例
		ロボット噴門側胃切除術	5例
		ロボット胃全摘術	4例
		審査腹腔鏡	6例
GIST	5例 (7%)	腹腔鏡下胃部分切除術	5例
十二指腸 GIST	1例 (1%)	LECS (十二指腸部切)	1例
NET	1例 (1%)	腹腔鏡下幽門側胃切除術	1例
イレウス・内ヘルニア	3例 (4%)	腹腔鏡下イレウス解除	3例
その他	1例 (1%)	腹腔鏡下胃瘻造設	1例
	合計 71例		合計 71例

トピックス

- 2月 第5回山口食道がん研究会を開催しました
第95回日本胃癌学会総会に参加しました (武田、飯田、中島、山本)
- 3月 JCOG食道班会議に参加しました (武田、渡邊、西山)
第19回山口県消化管セミナーを開催しました
- 4月 第123回日本外科学会定期学術集會に参加しました (武田、飯田、渡邊、西山、中島、山本)
- 5月 内視鏡外科技術認定医 (食道) に認定されました (渡辺)
- 6月 第77回日本食道学会学術集會に参加しました (武田、渡邊、西山)
Esophageal Cancer Seminar in Yamaguchiを開催しました
- 7月 第77回日本消化器外科学会総会(横浜) に参加しました (武田、飯田、渡邊、西山、中島、山本)
JCOG食道班会議にWEB参加しました (武田、渡邊、西山)
- JDDW2022に参加しました (武田)
- 11月 第35回日本外科感染症学会総会学術集會に参加しました (武田)
JCOG食道班会議に参加しました (武田、渡邊、西山)
- 12月 第35回日本内視鏡外科学会総会 (名古屋) に参加しました (武田、飯田、西山)
第6回山口消化管内視鏡外科研究会を開催しました

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	登録期間	進捗	症例数
UMIN000016 196	切除不能・進行再発胃癌の2次化学療法としての低用量Nab-Paclitaxel療法の有用性の検討～臨床第II相試験～	胃癌	山口大学	2018/2/1～ 2021/3/31	登録終了	54
UMIN000023 065	Ramucirumab抵抗性進行胃癌に対するramucirumab + Irinotecan併用療法のインターグループランダム化第III相試験	胃癌	OGSG	2017/2/22～ 2020/12/31	実施中	1
UMIN000009 531	ハイリスク消化管間質腫瘍（GIST）に対する完全切除後の治療に関する研究（STAR ReGISTry）	胃癌	国立がん研究センター		登録終了	7
jRCTs031220 572	術後補助化学療法中または終了後早期に再発した胃癌に対する CapeOX + ニボルマブ療法の第II相試験（FirSTAR試験 JACCRO GC-11）	胃癌	JACCRO	2023/3/1～ 2027/8	実施中	
jRCTs031 230182	食道胃接合部腺癌に対するDOS or FLOTを用いた術前化学療法のランダム化第II/III相試験 JCOG2203：	食道胃接合部癌	JCOG	2023/6/27～ 2032/5/31	実施中	



下部消化管グループ

スタッフ

友近 忍、田中宏典、藤原康弘



2023年、下部消化管グループは、上半期は鈴木、友近、藤原で下半期は友近、田中、藤原のメンバーを中心に診療を行いました。手術患者数は186例でした。結腸・直腸癌症例に対する根治的手術は123例、そのうち鏡視下手術は120例(97.5%)とほとんどの症例に鏡視下手術を施行しました。良性疾患に関しても積極的に鏡視下手術を導入しています。2023年のトピックスは鈴木の内視鏡外科技術認定医(大腸)の取得により、ロボット支援下直腸切除術が開始され2023年はロボット支援下手術を14例を施行しております。2023年度の技術認定(大腸)を友近も所得したことで、症例の蓄積を継続しプロクターの所得から、若手医師もロボット手術が経験できる環境作りにも努めていく予定です。手術ではTaTMEの経験も蓄積され、今まで切除に難渋していたBulky tumorに対しても、術前化学療法による腫瘍の縮小、および経肛門の良好な視野により、two team制で時間短縮した手術が可能となっています。

令和5年診療研究情報報告

入院患者数

結腸/直腸癌	145例
盲腸癌・回盲部癌	16例
上行結腸癌	25例
横行結腸癌	14例
下行結腸癌	6例
S状結腸癌	30例
直腸癌	54例

手術症例内訳

疾患別	手術件数: 186
大腸癌 切除	123例
ストーマ造設(審査腹腔鏡)	12例
審査腹腔鏡	4例
人工肛門形成状態(人工肛門閉鎖術)	13例
クローン病・潰瘍性大腸炎	6例・5例
小腸病変	3例
肛門疾患(痔核、痔瘻等)	1例
直腸脱	7例
その他	14例

術前治療(重複含む)

NAC/induction	18 FOLFOXIRI: 13例 FOLFOX: 3例 Pembro: 2例
人工肛門造設	12
大腸ステント	4
到達法	N=123
腹腔鏡補助(Ta / TpTME)	107 (5例)
ロボット支援下	14
開腹	2 多臓器浸潤: 1例 尿路再建: 1例

大腸癌根治手術 85例

年齢(平均、範囲)	70.7歳(42-89)
75歳以上(%)	34例(39.5%)

腫瘍局在(重複含む)

盲腸	11例
上行結腸	18例
横行結腸	12例
下行結腸	11例
S状結腸	28例
直腸・肛門	36例・1例

pStage

0	2例
I	26例
II	48例
III	29例
IV	13例
ypCR	2例

大腸癌：術式別	90例
回盲部切除	10例
右半結腸切除	10例
横行結腸切除	4例
下行結腸切除	3例
S状結腸切除	21例
高位前方切除	11例（ロボット支援下：6例）
低位前方切除	20例（TaTME：1例）
ISR	4例（TaTME：4例）
直腸切断術	1例（TpTME：1例）

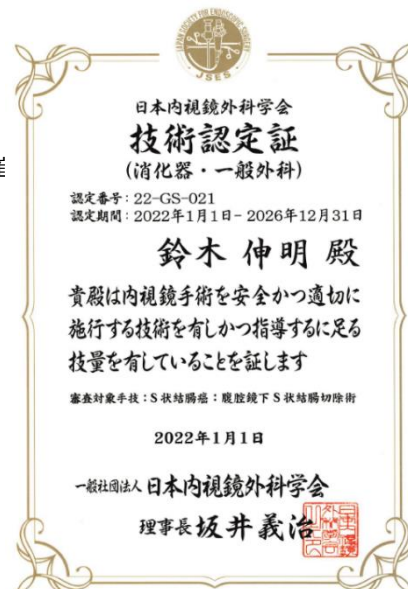
大腸癌：術式別	(づつき)
骨盤内臓全摘	2例
Hartmann手術	1例
側方郭清	8例
その他	3例
到達法	85例
腹腔鏡補助	77例（開腹移行例なし）
（うちTa / TpTME	7例）
ロボット支援下	6例
開腹	2例(腹壁浸潤1例、巨大卵巣切除1例)

トピックス

- 1月 東京で開催された第96回大腸癌研究会（ハイブリッド開催）に参加しました。（友近、兼定）
- 4月 熊本で開催された第122回日本外科学会定期学術集会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、吉田、兼定、小佐々）
- 5月 佐賀で開催された第76回手術手技研究会（ハイブリッド開催）に参加しました。（友近）
- 5月 京都で開催された第43回癌免疫外科研究会に参加しました。（山本、千々松、兼定、古谷）
- 7月 大阪で開催された“第44回日本癌局所療法研究会（ハイブリッド開催）”に参加しました。（小佐々）
- 7月 東京で開催された第97回大腸癌研究会学術集会（ハイブリッド開催）に参加しました。（吉田、友近）
- 7月 神奈川で開催された第77回日本消化器外科学会総会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、吉田、友近、兼定、小佐々）
- 9月 岡山で開催された第97回中国四国外科学会総会、第27回中国四国内視鏡外科研究会に参加しました。（兼定）
- 10月 千葉で開催された第77回日本大腸肛門病学会学術集会に参加しました。（鈴木、友近、兼定）
- 10月 兵庫で開催された第60回日本癌治療学会学術集会（ハイブリッド開催）に参加しました。（吉田、兼定、小佐々）
- 10月 福岡で開催された、第30回日本消化器関連学会週間(JDDW 2022)（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、友近、兼定）
- 10月 吉田晋先生の異動に伴い、送別会を行いました。
- 11月 東京で開催された第84回日本臨床外科学会総会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、兼定）
- 12月 愛知で開催された第35回日本内視鏡外科学会総会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、友近）（ハイブリッド開催）



10月 吉田先生送別会



令和4年臨床試験一覧

終了した臨床試験

管理番号	試験名	対象	実施責任施設	進捗状況
H27-054	【TCR】大腸がん腫瘍浸潤リンパ球のT細胞受容体（TCR）網羅的解析による化学療法剤の効果予測と抗腫瘍特異的免疫誘導効果に関する研究	大腸癌	当院多施設	終了
H27-070	【PARADIGM study】RAS遺伝子（KRAS/NRAS遺伝子）野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ペバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験（PARADIGM study）	切除不能大腸癌	愛知県がんセンター中央病院 国立がん研究センター東病院	終了
H27-203	【CpG】進行・再発大腸がんに対する抑制性免疫解除剤+5種類のペプチドカクテル+CpGの複合免疫療法の第Ⅰ相臨床試験	進行・再発大腸癌	山口大学	終了
H24-057	【JFMC46-1201】再発危険因子を有するStageⅡ大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究	大腸癌	東海大学	終了

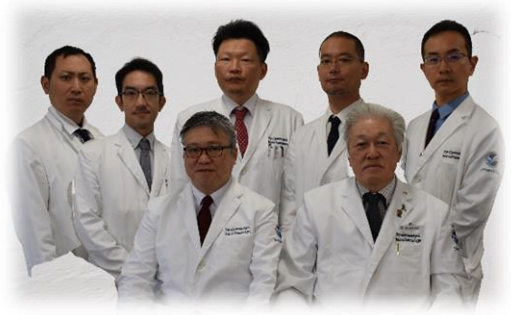
実施中の臨床試験

管理番号	試験名	対象	実施責任施設	進捗状況
H27-198	【JACCRO CC-13,DEEPER試験】RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ペバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験（JACCRO CC-13試験）	大腸癌	香川大学	実施中
H28-004	【JACCRO CC-13試験 AR】RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ペバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験におけるバイオマーカー研究（JACCRO CC-13AR）	大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
2018CRB001	【JACCROCC-16】RAS遺伝子野生型切除不能進行・再発大腸癌における二次治療FOLFIRI+ラムシルマブ併用療法の第Ⅱ相試験	切除不能大腸癌	香川大学医学部 附属病院	実施中
H2019-006	「RAS遺伝子野生型切除不能進行・再発大腸癌における二次治療FOLFIRI+ラムシルマブ併用療法の第Ⅱ相試験」におけるバイオマーカー研究（JACCROCC-16AR）	切除不能大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
H2019-090	【EXPERT付随】大腸癌肝転移に化学療法が与える影響に関する探索的観察研究	大腸癌肝転移	東京大学	実施中
H2019-155	【MOEST study】高齢者StageⅢ大腸癌に対する術後補助化学療法の現状調査	高齢者大腸癌	大腸癌研究会	実施中
H2019-177	「治療切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療としてのカペシタビン/LV5FU2+ペバシズマブ療法後のXELOX/FOLFOX +ペバシズマブ逐次療法とXELOX/FOLFOX +ペバシズマブ併用療法の多施設共同ランダム化第Ⅲ相臨床試験」参加者を対象とした追跡予後調査を目的とした観察研究（C ^o -Study）	切除不能大腸癌	川崎医科大学	実施中
2021-032	【RASMEX study】RAS 遺伝子変異型腫瘍を有する切除不能進行・再発大腸癌患者における化学療法後の血中RAS 遺伝子変異を評価する観察研究（JACCRO CC-17）	切除不能大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
2021-061	直腸癌手術における適切なCircumferential resection margin（CRM）とDistal Margin(DM)に関する多施設前向き観察研究	直腸癌	国立がん研究センター東病院	実施中
2021-142	【JACCRO CC-18】BRAF変異型大腸癌に対するBRAF阻害薬併用療法のバイオマーカー探索を含めた観察研究（BEETS試験）	大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
2022-171c	結腸癌に対する体腔内吻合の短期・長期成績に関する後向き・前向きコホート研究	大腸癌	大阪医科薬科大学	実施中

肝胆膵グループ

スタッフ

永野浩昭、徳光幸生、新藤芳太郎
松井洋人、中島正夫、木村祐太



私たち肝胆膵グループは山口県で唯一の、日本肝胆膵外科学会が定める“高度技能修練施設”の中の“認定施設A”（高難度手術を年間50例以上こなす施設）として、肝臓・胆道・膵臓領域の悪性疾患を中心に診療を行っています。肝細胞癌や転移性肝癌などに対しては低侵襲な腹腔鏡下肝切除を第一選択としております。このうちロボット支援下肝切除の症例数は着々と増加しており高難度とされる系統的肝切除も開始致しました。またロボット支援下膵体尾部切除術も導入しており、難しい術式の多い肝胆膵領域においても低侵襲手術により一層力を入れております。一方、胆道癌・膵臓癌などの難治癌・進行癌に対しては腫瘍内科と綿密に連携をとって、化学療法後に根治術を行い治療成績の向上を目指しています。他院で手術が難しいと判断されるようなケースでも、他診療科と連携しながら常に切除の可能性を追求し続けます。

令和5年診療研究情報報告

入院患者数（化学療法を含む）

肝疾患	153	胆道疾患	167	膵・脾疾患	431
肝細胞癌	50	胆嚢癌	42	膵癌	410
転移性肝腫瘍	38	胆管癌	95	PNET	3
肝内胆管癌	62	十二指腸乳頭部癌	9	IPMN	17
肝良性疾患	2	良性・その他	21	その他	1
肝硬変（肝移植）	1				

手術症例数

() 腹腔鏡手術症例、* 重複あり

	肝切除					生体肝移植					膵全摘	膵中央切除	その他	計	
	葉切以上	区域	亜区域	外側区域	部分	ドナー	レシピエント	胆管切除再建	肝膵同時切除	膵頭十二指腸切除					膵体尾部切除
肝細胞癌	3(1)	8(2)	2(1)	3(3)	28(26)					-	-				44(33)
肝内胆管癌	1*	1*			1(1)			2*		-	-			4(1)	7(2)
転移性肝癌			1(1)	1(1)	21(21)					-	-				23(23)
その他の肝疾患		1								-	-			3(2)	4(2)
肝門部・上部胆管癌	2*							2*						5(2)	7(2)
中・下部胆管癌										5					5
胆嚢癌					2(1)			7						6(5)	15(6)
乳頭部癌										2				2	2
その他の胆道疾患					2(2)			2						2(1)	6(3)
膵頭部癌	-	-	-	-	-					7				18(15)	25(15)
膵体尾部癌	-	-	-	-	-					1	4(3)		1	17(16)	23(19)
その他の膵疾患	-	-	-	-	-					5	8(7)			1	13(7)
上記以外										1				1	2
計	7*(1)	10(2)	3(2)	4(4)	54(51)			14*		21	12(10)		1	55(42)	176(112)

トピックス

- 2月 進行胆道癌に対するGCS療法後2次治療に関する論文がOncol Rep誌に掲載されました。（新藤）
- 4月 木村祐太先生が肝胆膵新規メンバーに加わりました（木村）
- 6月 第34回日本肝胆膵外科学会・学術集会に参加しました（全員）
- 7月 第13回山口膵・胆道疾患研究会（Web）を開催しました（全員）
- 9月 ドーム下小肝癌に対する腹腔鏡手術の有用性に関する論文がHepatol Res誌に掲載されました（徳光）
- 10月 膵頭十二指腸切除術後の膵液漏予測に関する論文がBMC Surg誌に掲載されました（松井）
APASL Oncology 2023 in Sendaiにて表彰されました（中島）
- 11月 第6回山口肝移植診療検討会を開催しました（全員）
第11回山口膵・胆道疾患研究会（WEB）を開催しました（全員）
- 12月 ロボット支援下膵切除を導入しました（全員）
- 12月 膵癌に対する審査腹腔鏡の論文がIn vivo誌に掲載されました（新藤）



ロボット支援下膵体尾部切除手術風景



ロボット支援下膵体尾部切除 ブロクターとしてお越し頂いた
大阪大学 富丸慶人先生と



ロボット支援下膵体尾部切除 ブロクターとしてお越し頂いた
岡山済生会病院 児島亨先生と



APASL Oncology 2023 in Sendaiにて
中島先生が表彰されました。

終了した臨床試験

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
	Machine learningを用いたCT画像解析による肝細胞癌の悪性度診断	肝細胞癌	熊本大学・九州肝臓外科研究会	終了
	高難度開腹非系統的肝切除の基準作成のための多施設共同研究	肝切除症例	肝胆膵外科学会	終了
	肝細胞癌における肝中央二区域切除の術中出血および術後合併症リスク因子解析と短期予後に関する多施設共同研究	肝細胞癌	宮崎大学・九州肝臓外科研究会	終了
	胆嚢癌疑診例および早期胆嚢癌に対する鏡視下切除の有効性の検討：多施設共同後ろ向き研究	胆嚢癌	国際医療福祉大学	終了
UMIN000035352	胆嚢癌疑診例に対する腹腔鏡手術の安全性に関する前向き観察研究（LAGBY）	胆嚢癌	山口大学・山口膵胆道疾患研究会	終了
UMIN000027785	胆嚢癌の診断と予後に関する前向き観察研究（GALLOP）	胆嚢癌	東北大学	終了
UMIN000029147	切除可能境界膵癌に対する術前化学療法に関する多施設共同前向き観察研究 BRPC-NAC	膵癌	山口大学・山口膵胆道疾患研究会	終了
	山口県内の膵癌根治切除症例に関する多施設共同後ろ向き観察研究	膵癌	山口大学・山口膵胆道疾患研究会	終了

実施中の臨床試験

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
	【JCOG1315c】切除可能肝細胞癌に対する陽子線治療と外科的切除の非ランダム化同時対照試験	肝細胞癌	JCOG	実施中
	門脈腫瘍栓を伴う高度進行肝細胞癌に対する集学的治療の安全性、有用性についての前向き観察研究	肝細胞癌Vp3-4	山口大学	実施中
	門脈内腫瘍栓を伴う高度進行肝細胞癌に対する治療方針とその安全性、有用性についての後ろ向き観察研究	肝細胞癌Vp3-4	山口大学	実施中
	C型肝炎SVR後発症の肝細胞癌に対する肝切除：IFN治療とDAA治療での臨床病理学的・分子生物学的比較検討に関する多施設共同研究	肝細胞癌	九州大学	実施中
	【CHALLENGE trial:JON2103-H】Child-Pugh分類Bの進行肝細胞癌患者を対象としたアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の第II相試験	肝細胞癌	JON	登録終了
UMIN000036286	大腸癌同時性肝転移に対する腹腔鏡下大腸・肝同時切除の安全性に関する前向き観察研究	大腸癌肝転移	山口大学	実施中
	肝移植レシピエントにおける周術期腸内細菌叢の変化と感染性合併症の関係および術後敗血症を早期予測するためのバイオマーカー探索研究	肝移植	山口大学	実施中
	切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法、外科的切除を用いた集学的治療の安全性、有効性を検討する多施設共同第2相臨床研究 RACB	肝細胞癌	京都大学	実施中
	免疫チェックポイント阻害剤投与後かつAFP400ng/ml以上の進行肝細胞癌に対するレンバチニブとラムシルマブのランダム化比較第III相試験 JON2101-H	肝細胞癌	神奈川県立がんセンター	実施中
	免疫チェックポイント阻害剤投与後の進行肝細胞癌に対するソラフェニブとレンバチニブのランダム化比較第3相試験 JON2102-H	肝細胞癌	神奈川県立がんセンター	実施中
	Borderline resectable肝細胞癌に対するレンバチニブ+シスプラチン肝動注化学療法の多施設共同第II相試験【LEOPARD-NEO】	肝細胞癌	国立がん研究センター東病院	実施中

令和5年診療研究情報報告（令和5年12月31日現在）

実施中の臨床試験

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況	
胆	UMIN000052908	胆嚢癌疑診例に対する術前画像診断の妥当性に関する前向き観察研究（LABGY2）	胆嚢癌	山口大学	実施中
		肝内結石症第8期全国横断調査	肝内結石症	杏林大学	実施中
胆	UMIN000038239	局所進行胆道癌に対するConversion surgeryの治療成績と予後因子解析に関する後方視的観察研究	胆道癌	日本肝胆膵外科学会	登録終了
		JCOG-バイオバンク・ジャパン連携バイオバンク	胆道癌	JCOG	実施中
胆	UMIN000036449	肝葉切除を伴わない胆道癌切除例を対象としたゲムシタピン/シスプラチン（GC）併用療法とゲムシタピン/TS-1（GS）併用療法の術後補助化学療法のランダム化第2相試験（KHBO1901）	胆道癌	KHBO 大阪国際がんセンター	登録終了
		胆道癌の術後補助療法における薬剤感受性予測因子に関する検討（JCOG1202A1）	胆道癌	JCOG	実施中
胆		[日韓共同プロジェクト研究] Vater 乳頭部癌に対する術後補助療法の治療成績に関する後方視的観察研究	乳頭部癌	肝胆膵外科学会	実施中
		胆管癌E7090試験	胆道癌	エーザイ	実施中
胆		FGFR2遺伝子再構成を伴う切除不能又は転移性の胆管癌患者を対象に、1次治療としてのPemigatinibの有効性及び安全性をゲムシタピン + シスプラチン併用化学療法と比較して評価する非盲検、ランダム化、実薬対照、多施設共同、第III相試験（FIGHT-302）	胆道癌	INCYTE社	実施中
		進行胆道癌に対する全身薬物療法後の外科的切除に関する前向き観察研究	胆道癌	山口大学	実施中
胆		切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタピン + シスプラチン + S-1（GCS）療法の第3相試験（JCOG1920）	胆道癌	JCOG	実施中
		細胆管細胞癌の臨床病理学的特徴とその臨床的意義	京都大学	京都大学	実施中
胆	UMIN000045156	70才以上の進行胆道癌患者に対する化学療法と高齢者機能評価に関する前向き観察研究 JON2104-B	胆道癌	JON	実施中
		切除不能または再発胆道癌を対象としたゲムシタピン/シスプラチン/S-1（GCS）療法とゲムシタピン/シスプラチン/免疫チェックポイント阻害薬療法のランダム化比較第 III 相試験（KHBO2201）	胆道癌	山口大学・KHBO	実施中
膵		進行再発膵癌に対するゲムシタピン/ナブパクリタキセルとFOLFIRINOXもしくはS-1/LOX療法を比較するRCT	膵癌	JCOG	試験中止
		ゲムシタピンベースの一次治療後の再発性または転移性膵癌に対するnal-IRIとS-1併用療法の第1/2相臨床試験 Phoenix study	膵癌	国立がん研究センター東病院	登録終了
膵		切除可能膵癌に対する腹腔鏡下膵体尾部切除術の開腹膵体尾部切除術に対する非劣性を検証するランダム化比較第III相試験【JCOG2202】	膵癌	JCOG	実施中
		慢性膵炎による難治性疼痛に対する内科的インターベンション治療と外科治療の比較解析 -多施設共同前向き実態調査-	慢性膵炎	藤田医科大学	実施中
膵		膵頭十二指腸切除における幽門輪の意義に関する後方視的観察研究	膵頭十二指腸切除症例	和歌山県立医科大学	実施中
		腹腔鏡下膵体尾部切除術における術前難度評価スコア（difficulty score）の有用性に対する検証研究	膵疾患	九州大学	登録終了
膵	UMIN000016380	膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者悉皆登録研究（TRINET1332）	神経内分泌腫瘍	日本神経内分泌腫瘍研究会	実施中
膵	UMIN000037621	膵切除における抗血栓剤服用歴が術後経過に及ぼす影響に関する研究	膵切除症例	肝胆膵外科学会	実施中
		良性～低悪性度膵腫瘍に対する腹腔鏡下尾側膵切除術の際の脾温存術と脾合併切除術の比較検討；Propensity score matching解析を用いる	良性～低悪性度膵腫瘍	九州大学	登録終了
膵		消化管・膵原発の切除不能進行・再発神経内分泌腫瘍に対するエベロリムス単剤療法とエベロリムス＋ランレオチド併用療法のランダム化第III相試験（JCOG1901）	切除不能・再発NET	JCOG	実施中

令和5年診療研究情報報告（令和5年12月31日現在）

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況	
膵	UMIN000014795	消化管・肝胆膵原発の切除不能・再発神経内分泌癌（NEC）を対象としたエトポシド/シスプラチン療法のランダム化比較試験	NEC	JCOG	実施中
		2次化学療法実施中の切除不能膵癌患者におけるePROを用いたQOL調査研究	膵癌	杏林大学	研究終了
		十二指腸狭窄を有する切除不能進行膵癌を対象とした初回化学療法導入前の狭窄解除法に関する多施設共同後ろ向き観察研究	膵癌	千葉がんセンター	実施中
	UMIN000029147	切除可能境界膵癌に対するGemcitabine/nab-Paclitaxel併用療法もしくはmFOLFIRINOXによる術前化学療法に関する多施設共同前向き観察研究	膵癌	山口大学	登録終了
		アジア人中腸NETの臨床病理学的特性に関する多施設共同研究	中腸NET	東北大学	登録終了
		Invasive intraductal papillary mucinous carcinoma (IPMC)に対する術後補助療法の有用性に関する後ろ向き観察研究	IPMC	和歌山県立医科大学	実施中
		腹膜転移を有する膵がんに対するS-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内投与併用療法の無作為化比較第III相多施設共同臨床試験 SP study	膵癌	関西医科大学	実施中
		膵頭十二指腸切除術後の膵液瘻の術前リスク因子に関する多施設共同後ろ向き観察研究	膵切除症例	山口大学	実施中
		膵癌に対する樹状細胞ワクチンTLP0-001治験	膵癌	和歌山医科大学	登録終了
	UMIN000043376	膵癌に対する審査腹腔鏡検査の臨床的意義に関する前向き観察研究	膵癌	山口大学	登録終了
	S-1術後補助療法中または終了後6ヵ月以内の再発膵癌に対するFOLFIRINOX療法またはgemcitabine+nab-paclitaxel療法の多施設共同後ろ向き観察研究	膵癌	杏林大学	登録終了	
	生殖細胞系列BRCA遺伝子病的バリエーションを有する切除不能・再発膵癌患者におけるFOLFOX療法の有効性と安全性を検討する第2相試験【JON-2105-P】	膵癌	JON	実施中	
	ナノリポソームイリノテカン/5-FU/ロイコボリン併用療法とS-1単剤療法の比較；傾向スコアマッチングを用いた多施設共同後ろ向きコホート研究【JON-2109-P】	膵癌	JON	実施中	
	膵頭十二指腸切除術における門脈合併切除例の検討	膵癌	帝京大学	実施中	
	家族性膵癌患者に対する術後補助化学療法の効果（JON-2201-P）	膵癌	日本大学	実施中	
	膵腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引生検（EUS-FNA）後の穿刺経路腫瘍細胞播種（Needle tract seeding）の前向き全国調査	膵癌	和歌山県立医科大学	実施中	
	切除不能局所進行膵癌に対するConversion Surgeryの新規化学療法導入後治療成績の再検討	膵癌	山口大学	実施中	
	術前補助化学療法後の膵癌手術における至適リンパ節郭清範囲を決定するための前方視的介入研究（JON2302-P）	膵癌	富山大学	実施中	

臓器横断的、その他

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝胆膵癌	MSI-High肝胆膵領域癌に対する観察研究	肝胆膵領域癌	国立がん研究センター中央病院	実施中
膵癌・胆道癌	膵・胆道癌に対する集学的治療（術前化学療法および手術加療）適格症例および治療法選定のためのバイオマーカー探索試験	膵癌・胆道癌	山口大学	実施中
肝胆膵領域癌	肝胆膵領域癌および神経内分泌腫瘍の希少フラクシオンに対する治療開発を目的としたマスタープロトコール試験【Mascarpone:JON2108-O】	肝胆膵領域癌および神経内分泌腫瘍	JON	実施中
肝胆膵領域手術	本邦における高難度肝胆膵外科手術の安全性と施設volumeの検討	高難度肝胆膵外科手術症例	山口大学	実施中

申請中の臨床試験

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝	切除不能肝細胞癌に対するレンパチニブ使用による外科的切除可能性の検討付随研究(長期成績の解析)	肝細胞癌	東京大学	IRB申請中
胆	FGFR2融合遺伝子陽性またはFGFR2遺伝子の再構成を認める切除不能または再発胆道癌に対するペミガチニブ療法に関するReal-world data analysis (JON2303-B)	胆道癌	山口大学	IRB申請中
膵	肝転移を伴う膵癌に対するconversion surgeryの意義（日本膵臓学会プロジェクト研究）	膵癌	関西医科大学	IRB申請中
	進行膵癌に対するmodified FOLFIRIN療法後の外科的切除に関する前向き観察研究	膵癌	山口大学	IRB申請中
	膵切除後合併症に対する再手術症例の検討	膵切除症例	奈良県立医科大学	IRB申請中
	腹腔洗浄細胞診陽性膵癌に対する全身化学療法の有効性を検証するための多施設共同第II相試験(WALCURE trial)	膵癌	富山大学	準備中

乳腺内分泌グループ



スタッフ
前田訓子、周山理紗

乳腺内分泌腺グループに乳腺・甲状腺・副甲状腺の悪性・良性疾患の外科手術および薬物療法などを、診断を含めて幅広く行っています。特に乳癌センチネルリンパ節生検においては、3D CT-リンフォグラフィ、Real-time Virtual Sonography (RVS)、ICGによるセンチネルリンパ節直接マーキング法といった当科オリジナルの方法で、センチネルリンパ節を高精度に同定しています。2023年4月より周山理紗医師の診療開始にて手術治療、超音波診断のさらなるレベルアップを目指しています。また、当院では形成外科専門医、乳腺専門医が備わっており、自家組織およびインプラントを考慮した乳房再建手術を保険診療で行うことが可能です。遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)の診断・治療に関しては、2020年の保険収載以降、遺伝性乳がん卵巣がん症候群患者さん7名の予防的乳房切除術を施行、今後も山口県唯一の遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設として産婦人科や遺伝専門外来と協力して診療をすすめていきます。複雑化、多様化する乳癌診療の充実のため引き続き、今後も診療・教育・研究に力を注ぎたいと思います。

令和5年診療研究情報報告

入院患者数

乳腺疾患	160
乳癌	125
良性疾患	10
マンモトーム検査	16
その他	9

甲状腺・副甲状腺疾患	8
甲状腺癌	3
Basedow病	0
良性腫瘍・その他	4
副甲状腺疾患	1

手術症例数

乳腺疾患	145
乳癌に対する手術	130
乳房切除術	117
(うち乳房再建術)	7)
乳房温存術	13
良性・その他(予防切除)	15

甲状腺・副甲状腺疾患	7
甲状腺癌に対する手術	4
甲状腺葉切除+頸部郭清	(1)
甲状腺全摘+頸部郭清	(3)
甲状腺良性腫瘍	3
Basedow病手術	0
副甲状腺手術	1

トピックス

- 4月 日本外科学会定期学術集会で、前田が発表しました
- 7月 日本乳癌学会で、周山、前田が発表しました
- 9月 日本乳癌学会中国四国地方会、前田が発表、教育セミナー司会を務めました。

令和5年診療研究情報報告（令和5年12月31日現在）

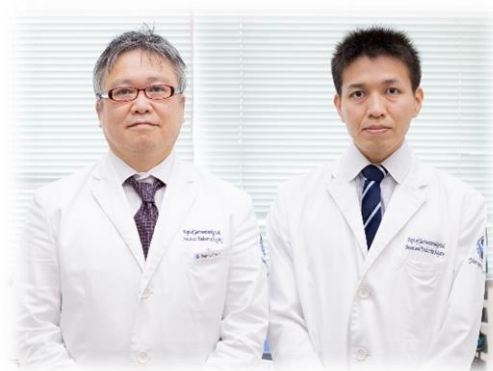
終了した臨床試験

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
000018202	HER2陽性の進行・再発乳癌に対するペルツズマブ再投与の有用性を検証する第III相臨床研究－ペルツズマブ再投与試験－JBCRG-M05(PRECIOUS)	HER2陽性乳癌	JBCRG	終了
000027938	HER2陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を比較検討する第III相臨床研究-JBCRG-M06(EMERALD)	HER2陽性乳癌	JBCRG	終了
000038065	転移・再発乳癌における遺伝子パネル検査FoundationOne® CDxの治療方針決定に与える影響を検討する観察研究 JBCRG-C07 (REIWA study)	進行・再発乳癌患者	JBCRG	終了

進行中の臨床試験

ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
UMIN000030783	高齢者HER2陽性進行乳癌に対するT-DM1療法とペルツズマブ+トラスツズマブ+ドセタキセル療法のランダム化比較第III相試験 JCOG1607	HER2陽性進行乳癌	JCOG	登録終了
UMIN000028298	エストロゲン受容体陽性・低リスク非浸潤性乳管癌に対する非切除+内分泌療法の有用性に関する単群検証的試験 (JCOG1505, LORETTA trial)	低リスクDCIS	JCOG	登録終了
jRCTs031190129	薬物療法により臨床的完全奏効が得られた HER2 陽性原発乳癌に対する非切除療法の有用性に関する単群検証的試験 JCOG1806	cT1-2N0M0 HER2陽性乳癌	JCOG	登録終了
UMIN000042447	切除不能進行がんおよび転移・再発固形がん患者に対するElectronic Patient-Reported Outcome (ePRO) モニタリングの有用性を検証する多施設共同非盲検ランダム化比較試験 PRO-MOTE (乳がん)	切除不能進行がんおよび転移・再発乳がん	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	登録終了
jRCT1030220506	「エンハーツ点滴静注用100mg特定使用成績調査(乳癌)」患者を登録対象としたトラスツズマブ デルクステカン中止後の後治療に関するコホート研究	進行再発乳癌	昭和大学	登録終了
UMIN000033384	BRCA1/2遺伝子変異陽性者に対するリスク低減乳房切除術の安全性の検討 乳癌手術後の整容性に対する患者満足度の調査研究	遺伝性乳癌 卵巣癌症候群 乳癌術後	山口大学 山口大学	実施中 実施中
UMIN000039200	乳房専用PET検査の有用性について多施設探索研究	乳癌	山口大学	実施中
UMIN000051581	錫(Sn)フィルターを用いた超低線量胸部CT(乳腺領域)の画質評価	乳癌	山口大学	実施中
	乳がん罹患した女性の妊孕性温存の選択における意思決定支援	乳癌	山口大学	実施中
	未成年の子どもを持つがんの母親が各時期で経験する子どもに向けた思いと各時期で求められるケアの調査	乳癌	山口大学	実施中
	HER2陽性の高齢者原発性乳がんに対する術後補助療法における多遺伝子アッセイを使用した観察研究 (Trans-RESPECT)	HER2陽性乳癌	NSAS-BC	実施中
jRCT1031240010	日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構多機関共同研究：BRCA遺伝学的検査に関するデータベースの作成	HBOC	JOHBOC	実施中
	乳がん罹患した女性が行う妊孕性温存の選択に用いる意思決定ガイドの内容適切性に関する検討	乳癌	山口大学	実施中
jRCT1031240010	トラスツズマブ デルクステカンにより完全奏効が達成されたHER2陽性の手術不能又は再発乳癌患者に対する多機関共同前向き観察研究 JBCRG-C11 (CREA)	HER2陽性進行乳癌	JBCRG	実施中
jRCTs031230439	オリゴ転移を有する進行乳癌に対する根治的局所療法追加の意義を検証するランダム化比較試験 (JCOG2110)	3個以下のオリゴ転移を有する進行乳癌	JCOG	実施中
jRCTs061220113	cN+原発性乳癌に対する新たな腋窩縮小手術 Tailored axillary surgery (TAS) の安全性と有用性に関するFeasibility 試験	乳癌	岡山大学病院	実施中
jRCTs051220133	ホルモン受容体陽性HER2陰性進行転移乳癌に対し一次治療としてアベマシクリブ、アロマトーゼ阻害薬併用療法施行症例を対象とした、ESR1変異に基づく治療戦略の有用性を検討する第2相研究 (JBCRG-M08 AMBER trial)	ホルモン受容体陽性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌	JBCRG	実施中

腫瘍センター



スタッフ
井岡達也、山田健介

がん薬物療法は進歩を続け、適応となる抗がん薬や疾患は飛躍的に増えています。令和2年に腫瘍センターに赴任し、当院においてがん薬物療法を行う患者さんの数は着実に増えております。疾患や治療はもちろん、年齢から個性、社会的背景もさまざまな患者さんがおられます。私たち腫瘍センターは病気だけにスポットをあてず、患者さんや家族にとって何がベストかを考え、その人らしく治療を続けていけるようなケアを大切にしています。今後、外来化学療法室のベッド数は増える予定で、さらに外来で治療を行える患者さんの数は増えることが予想されます。最新の治療を提供しつつ、AIなどを活用し、業務を円滑に進める一方で、目の前の患者さんと向き合う時間を大事にしていきたいと思っております。また、新薬の治験も積極的に実施しています。今後は、Her2異常発現を認める進行胆道癌の治験（2社）、胆道癌術後補助療法やKRAS変異を認める進行膵癌の治験も予定しています。

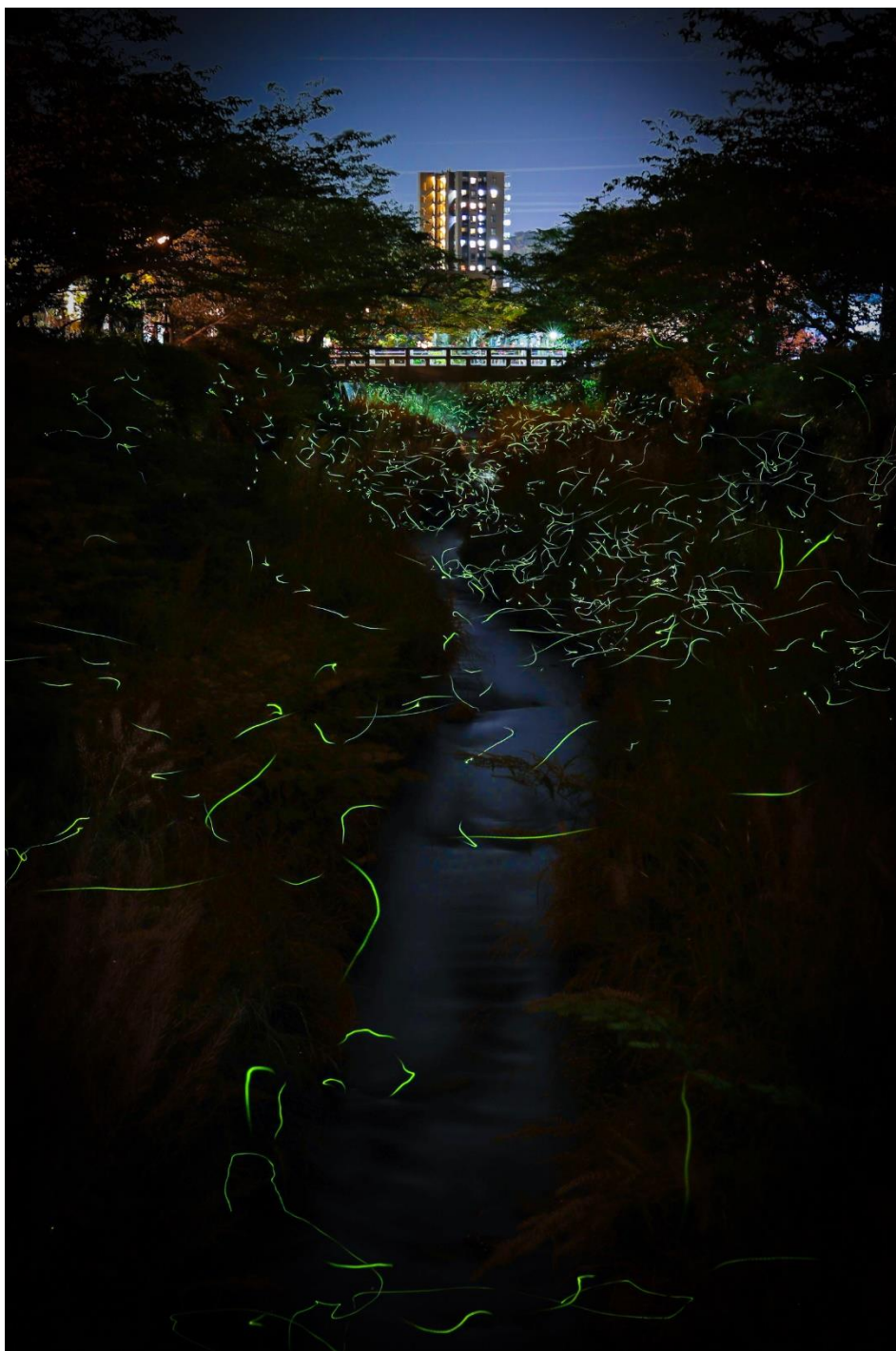
令和5年診療研究情報報告

診療実績

疾患領域		疾患領域	
食道	16例	肝臓	1例
胃	18例	胆道（肝内胆管癌含む）	14例
大腸	62例	膵臓	36例
小腸・十二指腸	1例	NET・NEC	6例
		肉腫	1例
		原発不明	1例

診療実績

食道癌	切除不能	10例	胆道癌 (肝内胆管癌を含む)	術前補助	5例	
	術後補助	Nivo単剤		4例	臨床試験	JCOG1920試験
胃癌	術前補助	2例	術後補助	4例		
	術後補助	8例	企業治験	アストラゼネカ	1例	
	切除不能	6例	KHBO	YOTSUBA試験	1例	
大腸癌	術前補助	15例	膵癌	R術前補助	8例	
		肝転移・肺転移		14例	BR術前補助	4例
		局所進行		1例	切除不能	24例
	術後補助	22例		企業治験	アステラス	4例
	切除不能	18例		臨床試験	JCOG1611試験	5例



一の坂夏のホタル（山口市）

第6回 山口肝移植診療検討会

2023.11.17

特別講演

座長：永野 浩昭 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授

東京医科大学八王子医療センターにおける移植医療への取り組み

演者：河地 茂行 先生

東京医科大学八王子医療センター 消化器外科・移植外科 主任教授

第6回 山口肝移植診療検討会

編者

時下 先生におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます
さて この度 下記の通り第6回山口肝移植診療検討会を開催させて頂くことになりました
つきましては ご多忙のり誠に恐縮に存じますが ご参加・ご視聴いただけましたら幸いです
末筆ながら先生の益々のご発展をお祈り申し上げます

謹白

日時 2023年 11月 17日(金) 19:00～20:05

配信会場 ANAクラウンプラザホテル宇部
個人視聴 Teamsによる配信
(参加登録は、裏面をご確認ください)

開会挨拶 座長 永野 浩昭 先生
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学分野 教授

演題 『東京医科大学八王子医療センターにおける
移植医療への取り組み』

演者 河地 茂行 先生
東京医科大学八王子医療センター
消化器外科・移植外科 主任教授

主催：アステラス製薬株式会社

第14回 山口膵・胆道疾患研究会

2023.11.10

特別講演

座長：永野 浩昭 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授

胆道癌の薬物療法 Update 2023

演者：池田 公史 先生

国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科 科長

第14回 山口膵・胆道疾患研究会

日時：2023年 11月 10日 (金) 18:30～19:30

インターネットLIVE配信

本会はZoomのシステムを利用した講演会となりますので、
PC上での視聴となります。申し込み方法は裏面をご覧ください。

特別講演：18:30～19:30



座長 山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 教授 永野 浩昭
先生

『胆道癌の薬物療法 Update 2023』

演者 国立がん研究センター東病院
肝胆膵内科 科長 池田 公
史 先生

主催：TAHO 大鵬薬品工業株式会社
TAHO PHARMACEUTICAL CO., LTD.

2023年 業績報告



UBE株式会社（宇部市）

英文論文

1. Ioka T, Kanai M, Kobayashi S, Sakai D, Eguchi H, Baba H, Seo S, Taketomi A, Takayama T, Yamaue H, Takahashi M, Sho M, Kamei K, Fujimoto J, Toyoda M, Shimizu J, Goto T, Shindo Y, Yoshimura K, Hatano E, Nagano H ; Kansai Hepatobiliary Oncology Group (KHBO): Randomized phase III study of gemcitabine, cisplatin plus S-1 versus gemcitabine, cisplatin for advanced biliary tract cancer (KHBO1401 - MITSUBA). *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2023 Jan ; 30(1) 102-110
2. Mlecnik B, Lugli A, Bindea G, Marliot F, Bifulco C, Lee JJ, Zlobec I, Rau TT, Berger MD, Nagtegaal ID, Vink-Börger E, Hartmann A, Geppert CI, Kolwelter J, Merkel S, Grützmann R, Van den Eynde M, Jouret-Mourin A, Kartheuser A, Léonard D, Remue C, Wang J, Bavi P, Roehrl MHA, Ohashi PS, Nguyen LT, Han S, MacGregor HL, Hafezi-Bakhtiari S, Wouters BG, Masucci GV, Andersson EK, Zavadova E, Vocka M, Spacek J, Petruzelka L, Konopasek B, Dunder P, Skalova H, Nemejcova K, Botti G, Tatangelo F, Delrio P, Ciliberto G, Maio M, Laghi L, Grizzi F, Fredriksen T, Buttard B, Lafontaine L, Maby P, Majdi A, Hijazi A, El Sissy C, Kirilovsky A, Berger A, Lagorce C, Paustian C, Ballesteros-Merino C, Dijkstra J, van de Water C, Vliet SVL, Knijn N, Muşină AM, Scripcariu DV, Popivanova B, Xu M, Fujita T, Hazama S, Suzuki N, Nagano H, Okuno K, Torigoe T, Sato N, Furuhashi T, Takemasa I, Patel P, Vora HH, Shah B, Patel JB, Rajvik KN, Pandya SJ, Shukla SN, Wang Y, Zhang G, Kawakami Y, Marincola FM, Ascierto PA, Fox BA, Pagès F, Galon J. Multicenter International Study of the Consensus Immunoscore for the Prediction of Relapse and Survival in Early-Stage Colon Cancer. *Cancers (Basel).* 2023 Jan ; 15(2) 418
3. Ikenaga N, Miyasaka Y, Ohtsuka T, Nakata K, Adachi T, Eguchi S, Nishihara K, Inomata M, Kurahara H, Hisaka T, Baba H, Nagano H, Ueki T, Noshiro H, Tokunaga S, Ishigami K, Nakamura M ; Kyushu Study Group of Treatment for Pancreatobiliary Cancer. A Prospective Multicenter Phase II Trial of Neoadjuvant Chemotherapy with Gemcitabine Plus Nab-Paclitaxel for Borderline Resectable Pancreatic Cancer with Arterial Involvement. *Ann Surg Oncol.* 2023 Jan ; 30(1) 193-202
4. Kim HS, Song W, Choo W, Lee S, Han Y, Bassi C, Salvia R, Marchegiani G, Wolfgang CL, He J, Blair AB, Kluger MD, Su GH, Kim SC, Song KB, Yamamoto M, Hatori T, Yang CY, Yamaue H, Hirono S, Satoi S, Fujii T, Hirano S, Lou W, Hashimoto Y, Shimizu Y, Del Chiaro M, Valente R, Lohr M, Choi DW, Choi SH, Heo JS, Motoi F, Matsumoto I, Lee WJ, Kang CM, Shyr YM, Wang SE, Han HS, Yoon YS, Besselink MG, van Huijgevoort NCM, Sho M, Nagano H, Kim SG, Honda G, Yang Y, Yu HC, Yang JD, Chung JC, Nagakawa Y, Seo HI, Lee S, Kim H, Kwon W, Park T, Jang JY. Development, validation, and comparison of a nomogram based on radiologic findings for predicting malignancy in intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas : An international multicenter study. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2023 Jan ; 30(1) 133-143
5. Chidimatsu H, Tsunedomi R, Nakagami Y, Xu M, Nakajima M, Nakashima-Nakasuga C, Tomochika S, Yoshida S, Suzuki N, Watanabe Y, Matsui H, Shindo Y, Tokumitsu Y, Iida M, Takeda S, Ioka T, Ueno T, Tanabe T, Hoshii Y, Hazama S, Nagano H. Serum CCL7 Is a Novel Prognostic Biomarker of Metastatic Colorectal Cancer. *Anticancer Res.* 2023 Jan ; 43(1) 105-114
6. Yamagata H, Tsunedomi R, Kamishikiryo T, Kobayashi A, Seki T, Kobayashi M, Hagiwara K, Yamada N, Chen C, Uchida S, Ogihara H, Hamamoto Y, Okada G, Fuchikami M, Iga JI, Numata S, Kinoshita M, Kato TA, Hashimoto R, Nagano H, Ueno S, Okamoto Y, Ohmori T, Nakagawa S. Interferon signaling and hypercytokinemia-related gene expression in the blood of antidepressant non-responders. *Heliyon.* 2023 Jan ; 9(1) e13059
7. Otsubo T, Kobayashi S, Sano K, Misawa T, Katagiri S, Nakayama H, Suzuki S, Watanabe M, Ariizumi S, Unno M, Tanabe M, Nagano H, Kokudo N, Hirano S, Nakamura M, Shirabe K, Suzuki Y, Yoshida M, Takada Y, Nakagohri T, Horiguchi A, Ohdan H, Eguchi S, Ohtsuka M, Sho M, Rikiyama T, Hatano E, Taketomi A, Fujii T, Yamaue H, Miyazaki M, Yamamoto M, Takada T, Endo I. A nationwide certification system to increase the safety of highly advanced hepatobiliary-pancreatic surgery. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2023 Jan ; 30(1) 60-71
8. Furuse J, Ueno M, Ikeda M, Okusaka T, Teng Z, Furuya M, Ioka T. Liposomal irinotecan with fluorouracil and leucovorin after gemcitabine-based therapy in Japanese patients with metastatic pancreatic cancer : additional safety analysis of a randomized phase 2 trial. *Jpn J Clin Oncol.* 2023 Jan ; 53(2) 130-137

9. Matsuda A, Maruyama H, Akagi S, Inoue T, Uemura K, Kobayashi M, Shiomi H, Watanabe M, Fujita T, Takahata R, Takeda S, Fukui Y, Toiyama Y, Hagiwara N, Kaito A, Matsutani T, Yasuda T, Yoshida H, Tsujimoto H, Kitagawa Y. Survival impact of surgical site infection in esophageal cancer surgery : A multicenter retrospective cohort study. *Ann Gastroenterol Surg.* 2023 Jan ; 7(4) 603-614
10. Xu M, Tsunedomi R, Kiyotani K, Tomochika S, Furuya K, Nakajima M, Matsui H, Tokumitsu Y, Shindo Y, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Hazama S, Nagano H. Anti-VEGF and Anti-EGFR Antibody Therapy on T-Cell Infiltration and TCR Variation in Metastatic Colorectal Cancer. *Anticancer Res.* 2023 Feb ; 43(2) 613-620
11. Shindo Y, Nagano H, Kanai M, Kobayashi S, Wada H, Sakai D, Eguchi H, Baba H, Kamachi H, Takayama T, Ueno M, Takahashi M, Nakagami Y, Yoshimura K, Hatano E, Ioka T. *Oncol Rep.* 2023 Feb ; 49(2) 41
12. Kanesada K, Tsunedomi R, Hazama S, Ogihara H, Hamamoto Y, Shindo Y, Matsui H, Tokumitsu Y, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H. Association between a single nucleotide polymorphism in the R3HCC1 gene and irinotecan toxicity: applying a novel discrete Bayes decision rule. *Cancer Med.* 2023 Feb ; 12(4) 4294-4305
13. Kunisawa S, Ishida H, Ikai H, Nagano H, Fujiwara T, Ohdan H, Fujiwara Y, Tajima Y, Ueno T, Fujiwara Y, Shimada M, Suzuki Y, Watanabe Y, Hanazaki K, Kakeji Y, Kumamaru H, Takahashi A, Miyata H, Imanaka Y. Impact of the hospital volume and setting on postoperative complications of surgery for gastroenterological cancers in a regional area of Western Japan. *Surg Today.* 2023 Feb ; 53(2) 214-222
14. Takahara N, Nakai Y, Isayama H, Sasaki T, Morine Y, Watanabe K, Ueno M, Ioka T, Kanai M, Kondo S, Okano N, Koike K. A prospective multicenter phase II study of FOLFIRINOX as a first-line treatment for patients with advanced and recurrent biliary tract cancer. *Invest New Drugs.* 2023 Feb ; 41(1) 76-85
15. Kim HS, Kim W, Endo I, Jang JY, Kim H, Song KB, Hwang DW, Kang CM, Hwang HK, Park SJ, Han SS, Yoon YS, Do Yang J, Amano R, Yamazoe S, Yanagimoto H, Ajiki T, Ohtsuka M, Suzuki D, Lee DS, Kitahata Y, Amaya K, Sakata J, Seo HI, Yamauchi J, Yabushita Y, Tanaka T, Sakurai N, Hirashita T, Horiguchi A, Unno M, Do You D, Yamashita YI, Kobayashi S, Kyoden Y, Ide T, Nagano H, Nakamura M, Yamaue H, Yamamoto M, Park JS. Proposal of nomograms to predict clinical outcomes in patients with ampulla of Vater cancer based on the Korea-Japan collaborative study. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2023 Mar ; 30(3) 360-373
16. Bekaii-Saab T, Okusaka T, Goldstein D, Oh DY, Ueno M, Ioka T, Fang W, Anderson EC, Noel MS, Reni M, Choi HJ, Goldberg JS, Oh SC, Li CP, Tabernero J, Li J, Foos E, Oh C, Van Cutsem E. Napabucasin plus nab-paclitaxel with gemcitabine versus nab-paclitaxel with gemcitabine in previously untreated metastatic pancreatic adenocarcinoma : an adaptive multicentre, randomised, open-label, phase 3, superiority trial. *Eclinical Medicine.* 2023 Mar ; 58 101897
17. Nanashima A, Eguchi S, Hisaka T, Kawasaki Y, Yamashita YI, Ide T, Kuroki T, Yoshizumi T, Kitahara K, Endo Y, Utsunomiya T, Kajiwara M, Sakoda M, Okamoto K, Nagano H, Takami Y, Beppu T. Risk Factors of Complications from Central Bisectionectomy (H458) for Hepatocellular Carcinoma : A Multi-Institutional Single-Arm Analysis. *Cancers (Basel).* 2023 Mar ; 15(6) 1740
18. Fujiwara Y, Kuboki Y, Furukawa M, Mizuno N, Hara H, Ioka T, Ueno M, Takahashi Y, Takahashi S, Takeuchi S, Lihou C, Ji T, Tian C, Shimizu T. FIGHT-102 : A phase 1 study of pemigatinib in Japanese patients with advanced malignancies. *Cancer Med.* 2023 May ; 12(9) 10597-10611
19. Hasegawa K, Takemura N, Yamashita T, Watadani T, Kaibori M, Kubo S, Shimada M, Nagano H, Hatano E, Aikata H, Iijima H, Ueshima K, Ohkawa K, Genda T, Tsuchiya K, Torimura T, Ikeda M, Furuse J, Akahane M, Kobayashi S, Sakurai H, Takeda A, Murakami T, Motosugi U, Matsuyama Y, Kudo M, Tateishi R ; committee for Revision of the Clinical Practice Guidelines for Hepatocellular Carcinoma, Tokyo, Japan. *Clinical Practice Guidelines for Hepatocellular Carcinoma : The Japan Society of Hepatology 2021 version (5th JSH-HCC Guidelines).* *Hepatol Res.* 2023 May ; 53(5) 383-390
20. Ioka T, Shindo Y, Ueno M, Nagano H. Current progress in perioperative chemotherapy for biliary tract cancer. *Ann Gastroenterol Surg.* 2023 May ; 7(4) 565-571

21. Shen B, Saito A, Ueda A, Fujita K, Nagamatsu Y, Hashimoto M, Kobayashi M, Mirza AH, Graf HP, Cosatto E, Hazama S, Nagano H, Sato E, Matsubayashi J, Nagao T, Cheng E, Hoda SA, Ishikawa T, Kuroda M. Development of multiple AI pipelines that predict neoadjuvant chemotherapy response of breast cancer using H&E-stained tissues. *J Pathol Clin Res.* 2023 May ; 9(3) 182-194
22. Okumura T, Fujii T, Terabayashi K, Kojima T, Takeda S, Kashiwada T, Toriyama K, Hijioka S, Miyazaki T, Yamamoto M, Tanabe S, Shirakawa Y, Furukawa M, Honma Y, Hoshino I, Nabeya Y, Yamaguchi H, Uemoto S, Shimada Y, Matsubara H, Ozawa S, Makuuchi H, Imamura M. MicroRNAs associated with postoperative outcomes in patients with limited stage neuroendocrine carcinoma of the esophagus. *Oncol Lett.* 2023 May ; 26(1) 276
23. Sato Y, Elbadawy M, Suzuki K, Tsunedomi R, Nagano H, Ishihara Y, Yamamoto H, Azakami D, Uchide T, Nabeta R, Fukushima R, Abugomaa A, Kaneda M, Yamawaki H, Shinohara Y, Usui T, Sasaki K. Establishment of an experimental model of canine malignant mesothelioma organoid culture using a three-dimensional culture method. *Biomed Pharmacother.* 2023 Jun ; 162 114651
24. Yamauchi Y, Saeki I, Yamasaki T, Egusa M, Nishiyama N, Fujioka T, Kawamoto D, Nishimura T, Tanabe N, Oono T, Matsumoto T, Ishikawa T, Marumoto Y, Matsukuma S, Shindo Y, Tokumitsu Y, Yoshimine S, Murakami J, Tanaka T, Kimura S, Hoshii Y, Hamano K, Nagano H, Takami T. Double cancer of primary hepatic angiosarcoma and hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab. *Hepatol Res.* 2023 Jul ; 53(7) 681-686
25. Nakamura I, Hatano E, Baba H, Kamei K, Wada H, Shimizu J, Kanai M, Yoshimura K, Nagano H, Ioka T. Impact of conversion surgery after chemotherapy in patients with initially unresectable and recurrent biliary tract cancer. *Ann Gastroenterol Surg.* 2023 Jul ; 7(6) 1009-1020
26. Nakajima M, Hazama S, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakagami Y, Tamada K, Udaka K, Sakamoto M, Saito A, Kouki Y, Uematsu T, Xu M, Iida M, Tsunedomi R, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Doi S, Nagano H. Phase I study of a novel therapeutic vaccine as perioperative treatment for patients with surgically resectable hepatocellular carcinoma : The YCP02 trial. *Hepatol Res.* 2023 Jul ; 53(7) 649-660
27. Mizuno N, Ioka T, Ogawa G, Nakamura S, Hiraoka N, Ito Y, Katayama H, Takada R, Kobayashi S, Ikeda M, Miwa H, Okano N, Kuramochi H, Sekimoto M, Okusaka T, Ozaka M, Todaka A, Gotoh K, Tobimatsu K, Yamaguchi H, Nakagohri T, Kajiura S, Sudo K, Okamura K, Shimizu S, Shirakawa H, Kato N, Sano K, Iwai T, Fujimori N, Ueno M, Ishii H, Furuse J ; Hepatobiliary and Pancreatic Oncology Group (HBPOG) of Japan Clinical Oncology Group (JCOG). Effect of systemic inflammatory response on induction chemotherapy followed by chemoradiotherapy for locally advanced pancreatic cancer : an exploratory subgroup analysis on systemic inflammatory response in JCOG1106. *Jpn J Clin Oncol.* 2023 Jul ; 53(8) 704-713
28. Tsunedomi R, Shindo Y, Nakajima M, Yoshimura K, Nagano H. The tumor immune microenvironment in pancreatic cancer and its potential in the identification of immunotherapy biomarkers. *Expert Rev Mol Diagn.* 2023 Jul-Dec ; 23(12) 1121-1134
29. Imaoka H, Ikeda M, Umemoto K, Sunakawa Y, Ueno M, Ueno H, Ozaka M, Kuwahara T, Okano N, Kanai M, Hisano T, Suzuki Y, Asagi A, Shioji K, Todaka A, Tsuji K, Ikezawa K, Miki I, Komatsu Y, Akutsu N, Yamashita T, Okuyama H, Furuse J, Nagano H. Short-and long-term outcomes of laparoscopic radical gallbladder resection for gallbladder carcinoma : A multi-institutional retrospective study in Japan. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2023 Aug ; 30(8) 1046-1054
30. Minagawa T, Itano O, Hasegawa S, Wada H, Abe Y, Kitago M, Katsura Y, Takeda Y, Adachi T, Eguchi S, Oshima G, Aiko S, Ome Y, Kobayashi T, Hashida K, Nara S, Esaki M, Watanabe J, Ohtani H, Endo Y, Shirobe T, Tokumitsu Y, Nagano H. Short-and long-term outcomes of laparoscopic radical gallbladder resection for gallbladder carcinoma : A multi-institutional retrospective study in Japan. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2023 Aug ; 30(8) 1046-1054
31. Yamamoto T, Tsunedomi R, Nakajima M, Suzuki N, Yoshida S, Tomochika S, Xu M, Nakagami Y, Matsui H, Tokumitsu Y, Shindo Y, Watanabe Y, Iida M, Takeda S, Hazama S, Tanabe T, Ioka T, Hoshii Y, Kiyota A, Takizawa H, Kawakami Y, Ueno T, Nagano H. IL-6 Levels Correlate with Prognosis and Immunosuppressive Stromal Cells in Patients with Colorectal Cancer. *Ann Surg Oncol.* 2023 Aug ; 30(8) 5267-5277

32. Kang WH, Hwang S, Kaibori M, Kim JM, Kim KS, Kobayashi T, Kayashima H, Koh YS, Kubota K, Mori A, Takeda Y, Yun SS, Matsui K, Toriguchi K, Nagano H, Yoon MH, Soejima Y, Ariizumi S, Kim BS, Park Y, Yu HC, Kim BW, Lee JB, Park SJ, Jang JY, Yamaue H, Nakamura M, Yamamoto M, Endo I ; Collaboration of Korean Association of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery ; Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery. Validation of quantitative prognostic prediction using ADV score for resection of hepatocellular carcinoma : A Korea-Japan collaborative study with 9200 patients. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2023 Aug ; 30(8) 993-1005
33. Shiota Sato Y, Elbadawy M, Suzuki K, Tsunedomi R, Nagano H, Ishihara Y, Yamamoto H, Azakami D, Uchide T, Fukushima R, Tanaka R, Yoshida T, Mori T, Abugomaa A, Kaneda M, Yamawaki H, Shinohara Y, Aboubakr M, El-Asrag ME, Usui T, Sasaki K. Derivation of a new model of lung adenocarcinoma using canine lung cancer organoids for translational research in pulmonary medicine. *Biomed Pharmacother.* 2023 Sep ; 165 115079
34. Tokumitsu Y, Nagano H, Yamashita YI, Yoshizumi T, Hisaka T, Nanashima A, Kuroki T, Ide T, Endo Y, Utsunomiya T, Kitahara K, Kawasaki Y, Sakota M, Okamoto K, Takami Y, Kajiwarra M, Takatsuki M, Beppu T, Eguchi S. Efficacy of laparoscopic liver resection for small hepatocellular carcinoma located in the posterosuperior segments : A multi-institutional study using propensity score matching by the Kyushu Study Group of Liver Surgery. *Hepatol Res.* 2023 Sep ; 53(9) 878-889
35. Saeki I, Suehiro Y, Yamauchi Y, Hoshida T, Tanabe N, Oono T, Kawamoto D, Nishimura T, Matsumoto T, Ishikawa T, Shimokawa M, Tamori A, Kawada N, Tamai Y, Iwasa M, Nakagawa H, Nagano H, Takami T, Yamasaki T. Methylated SEPT9 assay-based liquid biopsy as a biomarker in molecular targeted agent-treated hepatocellular carcinoma. *Hepatol Int.* 2023 Oct ; 17(5) 1289-1299
36. Matsui H, Shindo Y, Yamada D, Ogihara H, Tokumitsu Y, Nakajima M, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Nakagami Y, Kobayashi S, Eguchi H, Ioka T, Hamamoto Y, Nagano H. A novel prediction model of pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy using only preoperative markers. *BMC Surg.* 2023 Oct ; 23(1) 310
37. Zhang Y, Zheng H, Xu M, Maeda N, Tsunedomi R, Kishi H, Nagano H, Kobayashi S. Fyn-Mediated Paxillin Tyrosine 31 Phosphorylation Regulates Migration and Invasion of Breast Cancer Cells. *Int J Mol Sci.* 2023 Nov ; 24(21) 15980
38. Matsuki R, Sakamoto Y, Yoshida M, Ogiso S, Soyama A, Seki Y, Tokumitsu Y, Eguchi S, Hasegawa K, Nagano H, Kokudo N, Hatano E. A multicenter validation study for determining the condition of nonanatomical or minor anatomical hepatectomies satisfying technical difficulty of current high-level hepatectomy certificated by the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2023 Nov ; 30(11) 1218-1226
39. Iseki M, Mizuma M, Unno M, Maruyama H, Akagi S, Shimoda M, Uemura K, Inoue T, Shiomi H, Watanabe M, Kobayashi M, Matsuda A, Mizuuchi Y, Aoki T, Shinkawa H, Takahata R, Makino K, Arai H, Yokoyama Y, Takeda S, Yaguchi Y, Kitagawa Y. Prognostic impact of postoperative infection after resection of biliary malignancy: A multicenter retrospective cohort study. *Surgery.* 2023 Nov ; 174(5) 1145-1152
40. Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsui H, Nakajima M, Kimura Y, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H. Efficacy of Staging Laparoscopy in Patients With Pancreatic Cancer : A Single Center Prospective Cohort Study. *In Vivo.* 2023 Nov-Dec ; 37(6) 2704-2709
41. Okusaka T, Saiura A, Shimada K, Ikeda M, Ioka T, Kimura T, Hosokawa J, Takita A, Oba MS. Incidence and risk factors for venous thromboembolism in the Cancer-VTE Registry pancreatic cancer subcohort. *J Gastroenterol.* 2023 Dec ; 58(12) 1261-1271

和文論文

1. 井岡達也、波多野悦朗、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、山田健介、永野浩昭 切除可能胆道がんの周術期治療 腫瘍内科 第31巻 第2号 (通巻182号) 2023年2月 164-169
2. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 腹腔鏡下尾状葉切除 臨床外科 第78巻 第3号 2023年3月 295-301
3. 篠田昌宏、板野 理、永野浩昭、田邊 稔、若林 剛 世界的な現状と日本におけるガイドラインの作成 臨床外科 第78巻 第3号 2023年3月 309-313
4. 井岡達也、波多野悦朗、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、山田健介、永野浩昭 プラチナ系薬剤が使える場合、使えない場合 消化器がん薬物療法レジメンプロの選び方・使い方 2023年3月 168-174
5. 竹村信行、建石良介、山下竜也、渡谷岳行、海堀昌樹、久保正二、島田光生、永野浩昭、波多野悦朗、相方 浩、飯島尋子、上嶋一臣、大川和良、玄田拓哉、土谷 薫、鳥村拓司、池田公史、古瀬純司、赤羽正章、小林 聡、櫻井英幸、武田篤也、村上卓道、本杉宇太郎、松山 裕、工藤正俊、長谷川潔 肝癌診療ガイドライン 2021年版の改訂点 肝臓 第64巻 第3号 2023年3月 109-121
6. 井岡達也、永野浩昭 切除不能局所進行膵癌に対する治療戦略 日本消化器病学会雑誌 第120巻 第8号 2023年8月 643-650
7. 碓 彰一、鈴木伸明、新藤芳太郎、中島正夫、永野浩昭 消化器がんに対するがん免疫療法の臨床試験と抑制性免疫の解析 消化器がん免疫療法の現在 (いま) がん治療の転換点に立つ 2023年9月 59-63
8. 碓 彰一、兼清信介、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭ネオアンチゲンをを用いたがん治療 消化器がん免疫療法の現在 (いま) がん治療の転換点に立つ 2023年9月 68-73
9. 井岡達也、永野浩昭 消化器外科 Special Lectures 消化器癌における最新の免疫治療 消化器外科 2023年9月号 希少腫瘍の診断と治療 第46巻 第9号 通巻第581号 2023年9月 1015-1022
10. 後藤 温、大橋 健、野田光彦、能登 洋、植木浩二郎、井上真奈美、西村理明、高橋 信、井岡達也、大島正伸、藤林和俊、辻 晃仁、公平 誠、玉腰暁子、三森功士、田辺裕子、原 英二、松尾恵太郎、村上善則、綿田裕孝 糖尿病と癌に関する合同委員会報告 第3報—がん主治医・糖尿病専門医へのアンケート調査より— 糖尿病 第66巻 第9号 2023年9月 705-714
11. 藤井敏之、碓 彰一、藤瀬悠太、吉田一也、池田昭彦、梶山實香、橋谷田博、中元賢武、藤原大輔、山下 仰、鈴木伸明、永野浩昭、井上幹茂、日野啓輔、沖田 極 盲腸癌の傍大動脈リンパ節転移再発に対してNivolumab + Ipilimumab 療法が奏効し免疫関連有害事象による一時中断後も寛解を維持している1例 癌と化学療法 第50巻 第10号 通巻688号 2023年10月 1107-1110
12. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、木村祐太、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 大腸癌肝転移の治療戦略 臨床雑誌 外科 第85巻 第13号 (12月号) 2023年12月 1408-1413
13. 梅野紘希、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 十二指腸浸潤より出血した弓状靱帯症候群および IPDA 動脈瘤を伴う IPMC の1例 癌と化学療法 第50巻 第13号 通巻691号 2023年12月 1581-1583
14. 前田訓子、尤 曉琳、鍋屋まり、周山理紗、鈴木伸明、武田 茂、為佐路子、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 巨大境界悪性葉状腫瘍に浸潤性乳管癌が併存した1例 癌と化学療法 第50巻 第13号 通巻691号 2023年12月 1618-1620
15. 佐伯晋吾、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、木村祐太、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 胆道癌との鑑別に苦慮した胆道原発悪性リンパ腫の1例 癌と化学療法 第50巻 第13号 通巻691号 2023年12月 1627-1629
16. 藤本拓也、前田訓子、井岡達也、永野浩昭 びまん性肝転移による肝障害を伴ったHER2 陽性進行乳癌に対して薬物療法を継続し得た1例 癌と化学療法 第50巻 第13号 通巻691号 2023年12月 1739-1741
17. 井岡達也 コラム：PS0 で抗がん剤を使い切り、遺伝子パネル検査で候補薬剤が見つからない場合、緩和医療に専念すべきか？ 胆と膵 第44巻 第6号 2023年 591-593

国際学会発表・司会

UEG Week 2023 2023/10/14-10/17 Denmark Copenhagen

1. Tsunedomi R. Association between single nucleotide polymorphisms and neutropenia caused by triplet chemotherapy in patients with pancreatic cancer. Oral

The Asian Pacific Association for the Study of the LiverAPASL Oncology 2023 In Search of Silver Bullet for HCC (Hybrid Meeting) 2023/10/27-10/28 Miyagi Hotel MetropolitanSendai

1. Nakajima M. Enhancing Tumor Immunogenicity of Hepatocellular Carcinoma Using a Novel Cancer Vaccine. Workshop
2. Tokumitsu Y. Laparoscopic Left Medial Sectionectomy According to Tumor Localization. Workshop

国内学会・研究会 発表・司会

第27回日本肝がん分子標的治療研究会 1/13-1/14 大阪 大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

1. 瀬尾 智、金井雅史、小川晃平、高田泰次、小林省吾、江口英利、永野浩昭、井岡達也、波多野悦朗 肝細胞癌術後再発高リスク群に対するソラフェニブによるmaintenance 治療の安全性と有効性の検証 一般演題

第95回日本胃癌学会総会 2/23-2/25 北海道 ロイトン札幌

1. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、山本常則、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 進行胃癌に対する開腹および腹腔鏡下幽門側胃切除術の短期および長期成績 デジタルポスター
2. 西田裕紀、飯田通久、中島千代、西山光郎、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 上部胃癌に対する腹腔鏡下胃全摘術における脾合併切除 デジタルポスター
3. 飯田通久、武田 茂、渡邊裕策、中島千代、西山光郎、山本常則、鈴木伸明、徳光幸生、新藤芳太郎、井岡達也、永野浩昭 高齢者胃癌術後における他病死のリスク因子 デジタルポスター
4. 中島千代、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、山本常則、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 腹腔鏡下胃切除術後におこる十二指腸断端縫合不全の検討 デジタルポスター

第59回日本腹部救急医学会総会 3/9-3/10 沖縄 沖縄コンベンションセンター

1. 永野浩昭 一般演題111 胆嚢② 一般演題 司会
2. 西田裕紀、渡邊裕策、西山光郎、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、飯田通久、吉田 晋、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 術後管理に難渋した放射線治療12年後に小腸穿孔をきたした放射線性腸炎の1例 生涯忘れられない一例
3. 鈴木有十夢、鈴木伸明、中島正夫、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、吉田 晋、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 術中 ICG 蛍光法による血流評価が有用であったTAFRO 症候群に合併した胃壁内気腫症、門脈ガス血症の1例 一般演題
4. 梅野紘希、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、永野浩昭 下部直腸癌による骨盤内穿通に非閉塞性腸間膜虚血を合併した一例 一般演題

第20回日本臨床腫瘍学会学術集会 3/16-3/18 (ハイブリッド開催) 福岡 福岡国際会議場 マリンメッセ福岡

1. 井岡達也 メディカルセミナー34 胆道癌における FGFR 阻害薬の意義と副作用マネージメント (皮膚・爪障害を中心に) メディカルセミナー 司会
2. 井岡達也、永野浩昭、波多野悦朗 胆道癌および膵臓癌の薬物治療 教育講演
3. 森実千種、小松嘉人、益田邦洋、金井雅史、井岡達也、上野 誠、尾阪将人、水野隆史、坂井大介、中村雅史、志村将司、Lipika Goyal、古瀬純司 FGFR2 融合/再構成遺伝子を有する肝内胆管がん患者に対するFutibatinib の第2相試験 : FOENIX-CCA2 試験の日本人サブグループ解析結果 Presidential Session

第109回日本消化器病学会総会 4/6-4/8 長崎 出島メッセ長崎

1. 井岡達也 胆道 腫瘍1 一般演題 (口演) 座長

第123回日本外科学会定期学術集会 4/27-4/29 (ハイブリッド開催) 東京 グランドプリンスホテル新高輪

1. 永野浩昭 ワークショップ4 局所進行肝癌に対する予後改善を目指した治療戦略 ワークショップ 司会
2. 武田 茂 デジタルポスター (76) 胃-長期成績・全般 デジタルポスター 司会
3. 七島篤志、矢野公一、江口 晋、久下 亨、川崎祥太、山下洋市、井手貴雄、黒木 保、吉住朋晴、北原賢二、遠藤裕一、宇都宮徹、梶原正俊、迫田雅彦、岡本好司、永野浩昭、高見裕子、別府 透 肝細胞癌における肝中央二区域切除の術後合併症リスク因子解析と短期予後に関する多施設共同研究 シンポジウム
4. 木村祐太、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 教室における門脈内腫瘍栓を伴った肝細胞癌に対する集学的治療 ワークショップ
5. 徳久晃弘、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 原発性十二指腸癌に対する至適術式の検討 デジタルポスター

7. 山田健介、井岡達也、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 切除可能な転移性肝腫瘍を伴う進行大腸癌に対する術前補助化学療法としてのFOLFOXIRI ± Bevacizumab 療法の安全性についての検討 デジタルポスター
8. 飯田通久、武田 茂、渡邊裕策、中島千代、西山光郎、山本常則、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 高齢者胃癌術後における他病死も含めた長期予後から見た治療戦略 サージカルフォーラム
9. 西山光郎、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、中島千代、山本常則、松井洋人、前田訓子、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道切除後の体重減少と体組成の変化について デジタルポスター
10. 渡邊裕策、武田 茂、飯田通久、西山光郎、中島千代、山本常則、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 BIA 法を用いた食道癌周術期患者の体組成評価 デジタルポスター
11. 小佐々貴博、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科の75歳以上高齢者における再発高リスクpStageII 大腸癌手術症例の検討 デジタルポスター
12. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における大腸癌肝転移肝切除症例における早期再発症例のリスク因子の検討 デジタルポスター
13. 鈴木有十夢、中島正夫、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、吉田 晋、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 高度肝機能障害を有する肝細胞癌患者に対する腹腔鏡下肝部分切除術の有用性の検討 デジタルポスター
14. 崎村祐介、伴登宏行、肥田侯矢、福岡達成、船越 徹、寺石文則、上原 圭、井上雄志、鈴木伸明、市川伸樹、武富紹信、内藤剛直腸癌に対する根治的腹腔鏡下手術術後の局所再発における危険因子の検討；術者の技術認定の有無が危険因子となるか サージカルフォーラム
15. 兼定 弦、飯田通久、武田 茂、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、前田訓子、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 当科における進行胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の短期および長期成績 サージカルフォーラム
16. 梅野紘希、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、山本常則、中島千代、西山光郎、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 内臓脂肪面積は CRP による胃切除後感染性合併症予測に影響する サージカルフォーラム
17. 前田訓子、鍋屋まり、鈴木伸明、武田 茂、為佐路子、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 乳癌 CT lymphography を用いた造影前後の体積変化率によるセンチネルリンパ節転移予測 サージカルフォーラム
18. 中島千代、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、山本常則、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 pStageII 胃癌の再発リスク因子の検討 デジタルポスター
19. 太田啓介、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、山本常則、松井洋人、前田訓子、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道切除術における NCD risk calculator の検証 デジタルポスター
20. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 予防的側方郭清の検証～当科における変遷～ デジタルポスター
21. 西田裕紀、中島正夫、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 腹腔鏡下肝部分切除術における予防的腹腔ドレーン留置の検討 デジタルポスター
22. 古谷 圭、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 膵癌術後の肺転移再発に対する外科切除の有用性 デジタルポスター
23. 山本 滋、為佐路子、佐藤哲也、尤 曉琳、松隈 聡、得能和久、河岡 徹、為佐卓夫、長島由紀子、久保秀文、前田訓子、永野浩昭 ガンゲノム医療連携病院における乳癌遺伝子パネル検査の施行状況 デジタルポスター

第41回日本肝移植学会学術集会 6/1-6/2 愛媛 ANAクラウンプラザホテル松山

1. 永野浩昭 シンポジウム4 レシピエント血行再建手技の工夫 (ビデオシンポ) シンポジウム 座長

第45回日本癌局所療法研究会 6/2 東京 シェーンバツハ・サボア

1. 梅野紘希、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 弓状靱帯症候群・IPDA 動脈瘤を伴う IPMC・十二指腸浸潤からの出血の1例 一般演題
2. 前田訓子、尤 曉琳、鍋屋まり、鈴木伸明、武田 茂、為佐路子、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 巨大境界悪性葉状腫瘍に浸潤性乳癌が併存した1例 デジタルポスター
3. 佐伯晋吾、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 胆道癌との鑑別に苦慮した胆道原発悪性リンパ腫の一例 デジタルポスター

第48回日本外科系連合学会学術集会 6/7-6/9 神奈川 パシフィコ横浜ノース

1. 永野浩昭 ビデオワークショップ1 私の手術手技の工夫 (肝胆碎) ビデオワークショップ 司会

第59回日本肝臓学会総会 6/15-6/16 (ハイブリッド開催) 奈良 奈良県コンベンションセンター

1. 永野浩昭 モーニングセミナー3 肝臓診療の Up To Date モーニングセミナー 司会

2023年度日本肝臓学会前期教育講演会 6/15-6/16 (ハイブリッド開催) 奈良 奈良県コンベンションセンター

1. 永野浩昭 教育講演会 司会

第44回癌免疫外科研究会 6/22-6/23 千葉 幕張メッセ国際会議場

1. 永野浩昭 イブニングセミナー リキッドバイオプシーによって変わる大腸癌診療 イブニングセミナー 座長
2. 中島正夫、恒富亮一、小佐々貴博、木村祐太、山本常則、玉田耕治、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭
大腸癌に対する免疫チェックポイント阻害剤治療抵抗性改善を目的とした新規免疫アジュバント製剤による免疫原性の向上
一般ポスター
3. 藤井敏之、裕 彰一、藤瀬悠太、吉田一也、井上幹茂、日野啓輔、鈴木伸明、永野浩昭、橋谷田博、中元賢武、沖田 極
盲腸癌の傍大動脈リンパ節転移再発に対してNivolumab + Ipilimumab 療法が奏功し、一時中断後も Nivolumab 単独療法
で寛解を維持している 1例 一般演題
4. 小佐々貴博、中島正夫、恒富亮一、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、齋藤 彰、中上裕有樹、武田 茂、井岡達也、永野浩昭
新規がんワクチンによる肝細胞癌における腫瘍免疫原性向上の試み 主題

第119回日本消化器病学会中国支部例会 日本消化器病学会中国支部 第37回教育講演会 6/24-6/25 岡山 岡山コンベンションセンター

1. 永野浩昭 肝移植についての最近の知見 教育講演
2. 飯田通久、武田 茂、浜辺功一、高見太郎、永野浩昭 当院における十二指腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術 ワークショップ

第77回日本食道学会学術集会 6/29-6/30 大阪 大阪国際会議場

1. 武田 茂 一般演題ポスター32 症例報告③ 一般演題ポスター 座長
2. 渡邊裕策、武田 茂、西山光郎、飯田通久、山本常則、中島千代、井岡達也、永野浩昭 当科における術前 DCF 療法の成績
一般演題ポスター
3. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 当科におけるロボット支援食道切除の短期成績のエビデンス 一般演題ミニ・オーラル
4. 西山光郎、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、山本常則、中島千代、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭
食道切除術後 1 日目の喉頭鏡について 一般演題ポスター

第31回日本乳癌学会学術総会 6/29-7/1 (ハイブリッド開催) 神奈川 パシフィコ横浜ノース

1. 前田訓子 ポスター9 画像診断 (PET/CT) 1 ポスター 座長
2. 前田訓子、鍋屋まり、鈴木伸明、武田 茂、爲佐路子、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 CT lymphography
での体積変化率によるセンチネルリンパ節転移予測 ポスター
3. 山本 滋、爲佐路子、梶山實香、尤 暁琳、松隈 聰、得能和久、長島由紀子、久保秀文、前田訓子、永野浩昭 当院における乳癌遺伝子パネル検査の現況 ポスター

第35回日本肝胆膵外科学会学術集会 6/30-7/1 東京 京王プラザホテル

1. Nagano H <Credit> Educational Session 1 Path to becoming a board-certified expert surgeon Educational Session Moderators
2. 永野浩昭 ランチョンセミナー10 これからの進行肝細胞癌に対する外科的治療戦略 ランチョンセミナー Moderators
3. Matsukuma S, Kawaoka T, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Nakajima M, Watanabe Y, Tomochika S, Iida M, Harada E, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Hamano K, Nagano H A prospective observational study of Laparoscopic Approaches for suspected Gallbladder cancer in Yamaguchi (LAGBY study) Workshop
4. Nakajima M, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Kanetsada K, Watanabe Y, Tomochika S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H Preoperative chemotherapy for patients with technically resectable liver metastases of colorectal cancer Oral

5. Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsui H, Nakajima M, Watanabe Y, Tomochika S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H The significance of neoadjuvant chemotherapy for resectable and borderline resectable pancreatic cancer Oral
6. Akahoshi K, Shindoh J, Eguchi S, Endo I, Kubo S, Shimada M, Taketomi A, Nagano H, Nakamura M, Hasegawa K, Hatano E, Yoshizumi T, Tanabe M, Kokudo N Questionnaire survey on surgical indications of hepatocellular carcinoma for the board-certified expert surgeons and instructors (hepato-biliary-pancreatic field) Panel Discussion
7. Fujii T, Matsumoto I, Saiura A, Hatano E, Nagano H Aiming to be a board certified expert surgeon ~General overview of the pancreatic field Educational Session
8. Miyasaka Y, Ikenaga N, Ohtsuka T, Nakata K, Adachi T, Eguchi S, Nishihara K, Inomata M, Kurahara H, Hisaka T, Baba H, Nagano H, Noshiro H, Nakamura M A prospective multicenter phase II trial of neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine plus nab-paclitaxel for borderline resectable pancreatic cancer with arterial involvement Panel Discussion
9. Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Nakajima M, Watanabe Y, Tomochika S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H Standardization of the laparoscopic gallbladder bed dissection for suspected gallbladder cancer Video Workshop
10. Furuya K, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Nakajima M, Watanabe Y, Tomochika S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H The efficacy and safety of routine intravenous acetaminophen use following laparoscopic hepatectomy English Training Session
11. Matsui H, Shindo Y, Tokumitsu Y, Nakajima M, Watanabe Y, Tomochika S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H Outcomes and future prospects for the treatment of PNEN in our department Symposium

第78回日本消化器外科学会総会 7/12-7/14 (ハイブリッド開催) 北海道 函館市民会館 函館アリーナ 花びしホテル

1. 永野浩昭 特別企画1 消化器外科の明るい未来に向けて 特別企画 司会
2. 鈴木伸明 一般演題066 【大腸】高齢者2 一般演題 座長
3. 小佐々貴博、鈴木伸明、友近 忍、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 再発高リスク Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法のレジメンに関する検討 一般演題
4. 恒富亮一、兼定 航、新藤芳太郎、松井洋人、徳光幸生、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 R3HCC1 遺伝子における一塩基多型とイリノテカン毒性との関連 一般演題
5. 山本常則、恒富亮一、中島正夫、鈴木伸明、友近 忍、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 大腸癌切除例における腫瘍局所の IL-6 発現と腫瘍浸潤免疫細胞の関係 一般演題
6. 兼定 航、鈴木伸明、友近 忍、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における大腸癌肝転移治癒症例に対する術後補助化学療法の現状 ワークショップ
7. 中島正夫、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、兼定 航、友近 忍、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 Borderline resectable 大腸癌肝転移症例に対する術前化学療法の検討 主題関連演題
8. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道癌患者に対する術前化学療法中の栄養介入の有効性 主題関連演題
9. 西山光郎、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、中島千代、山本常則、友近 忍、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道切除後の術後体重の推移と外来経腸栄養の有用性について 主題関連演題
10. 徳久晃弘、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 臍体部低悪性度腫瘍に対して臍中央切除術を施行した3例 一般演題
11. 兼定 弦、飯田通久、武田 茂、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、山本常則、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 CT 画像を用いて測定した骨密度が胃癌術後の予後に与える影響 一般演題
12. 中島千代、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、山本常則、友近 忍、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 Propensity score matching を用いた胃癌術後の感染性合併症と他病死の検討 一般演題
13. 古谷 圭、新藤芳太郎、中島正夫、松井洋人、徳光幸生、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 80 歳以上の高齢臍癌患者に対する臍頭十二指腸切除術の治療成績 一般演題
14. 渡邊裕策、武田 茂、飯田通久、西山光郎、中島千代、山本常則、新藤芳太郎、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 当科における高齢者食道癌の手術治療成績 一般演題
15. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における切除可能臍癌に対する治療戦略と成績 一般演題

16. 友近 忍、鈴木伸明、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における高齢者大腸癌手術症例における短期・長期成績 一般演題
17. 堤 甲輔、新藤芳太郎、永野浩昭 大動脈閉塞バルーン挿入法を併用し止血した臍頭十二指腸切除術直後の脾動脈瘤破裂の1例 専攻医セッション
18. 飯田通久、武田 茂、中島千代、西山光郎、渡邊裕策、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、永野浩昭 85歳以上超高齢者に対する胃癌手術の短期および長期成績 主題関連演題
19. 佐伯晋吾、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 診断に苦慮した胆道原発悪性リンパ腫の一例 一般演題
20. 梅野紘希、鈴木伸明、永野浩昭 結腸狭窄を伴う大腸型クローン病に対して ICG 蛍光法を併用したDeloyers 法にて腸管吻合を施行した一例 専攻医セッション

第27回日本がん免疫学会総会 7/19-7/21 三重 三重県総合文化センター

1. 小佐々貴博、中島正夫、恒富亮一、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、斎藤 彰、中上裕有樹、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 新規がんワクチンによる肝細胞癌における腫瘍免疫原性向上の試み 一般演題

第32回日本がん転移学会学術集会・総会 7/20-7/21 宮城 仙台国際センター

1. 永野浩昭 シンポジウム2 転移に対する外科的切除の適応と至適タイミング シンポジウム 座長
2. 兼定 航、鈴木伸明、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 大腸癌肝転移初回肝切除後の予後リスク因子の検討 ポスターセッション
3. 木村祐太、恒富亮一、吉村 清、西山光郎、中島正夫、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 肝癌幹細胞様細胞における NK 細胞からの免疫逃避 ポスターセッション
4. 木村祐太、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 臍癌術後の肺転移再発に対する治療成績 ワークショップ
5. 恒富亮一、清谷一馬、徐 明、友近 忍、中島正夫、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 抗 VEGF 抗体・抗 EGFR 抗体治療後の大腸がん肝転移巣における T 細胞浸潤と TCR レバトア ワークショップ

第59回日本肝癌研究会 7/27-7/28 大阪 大阪国際会議場

1. 永野浩昭 パネルディスカッション2 Child B Early Stage 肝癌の最適治療 パネルディスカッション 司会
2. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 Child-Pugh B 肝細胞癌患者に対する腹腔鏡下肝切除術の有用性 パネルディスカッション
3. 木村祐太、中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 腹腔鏡下肝部分切除術における予防的ドレーン留置の必要性 ポスター
4. 中島正夫、恒富亮一、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、齋藤 彰、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 肝細胞癌における ICI 治療抵抗性の改善を目的とした新規がんワクチンによる腫瘍免疫原性の向上 シンポジウム
5. 佐伯一成、山崎隆弘、末廣 寛、谷 丈二、岩佐元雄、田守昭博、能祖一裕、加川建弘、永野浩昭、高見太郎 非ウイルス性肝癌サーベイランスにおけるメチル化 SEPT9 によるリキッドバイオプシー検査のインパクト シンポジウム
6. 瀬尾 智、金井雅史、小川晃平、高田泰次、小林省吾、江口英利、永野浩昭、井岡達也、波多野悦朗 肝細胞癌の術後コンビネーション治療-再発高リスク群に対するソラフェニブを用いた maintenance 治療- ミニワークショップ

第50回日本臍切研究会 8/25-8/26 東京 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

1. 永野浩昭 全員討論会 Conversion surgery の現在：最新のエビデンスと患者予後 全員討論会 ディスカッション
2. 堤 甲輔、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、木村祐太、井岡達也、永野浩昭 臍十二指腸動脈アーケードを温存し、臍頭十二指腸切除術を施行した1例 ポスターセッション
3. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、木村祐太、井岡達也、永野浩昭 腹腔鏡下 Warshaw 手術における ICG 蛍光法を用いた脾血流評価の有用性 ポスターセッション
4. 松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 IPMC による臍性胸水の一例 ポスターセッション

第98回中国四国外科学会総会 第28回中国四国内視鏡外科研究会 8/31-9/1 徳島 JRホテルクレメント徳島

1. 小佐々貴博 U-40 企画：今しかない！エキスパートに直接聞こう!! - 苦手克服のポイント、手術のコツ、展開の極意、認定医獲得に何が足りない？ - 下部消化管 U-40 企画 司会
2. 永野浩昭 シンポジウム5 肝胆膵癌 conversion surgery の New normal シンポジウム 座長
3. 徳光幸生 ポスター8 肝・脾 ポスター 座長
4. 武田 茂 研修医・専攻医ポスター8 食道 ポスター 座長
5. 永野浩昭 モーニングセミナー2 モーニングセミナー 司会
6. 西田裕紀、鈴木伸明、藤原康弘、友近 忍、中島正夫、西山光郎、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における TaTME の治療成績 プレナリーセッション
7. 永野浩昭 日本肝胆膵外科学会中国・四国地区地域教育セミナーテーマ：肝胆膵低侵襲手術における Precision Anatomy を高度技能医修練に活かす 教育セミナー 総評
8. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、木村祐太、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 多発肝細胞癌に対する集学的治療としての外科的切除の意義を考える シンポジウム
9. 木村祐太、中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 教室における腹腔鏡下再肝切除例の治療戦略 ポスター
10. 堤 甲輔、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、木村祐太、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 ロボット支援下肝切除の導入と GelPoit Mini の有用性 ポスター

第166回日本獣医学会学術集会 9/5-9/8 (WEB開催)

1. 恒富亮一、吉村 清、中島正夫、木村祐太、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 ヒト肝癌細胞株より誘導した癌幹細胞様細胞の特性 シンポジウム

第59回日本胆道学会学術集会 9/14-9/15 北海道 京王プラザホテル札幌

1. 千田彰彦、寺島健志、森貴千種、戸高明子、梅本久美子、川上裕次郎、上野 誠、古瀬純司、永野浩昭 切除不能または再発胆道癌患者に対する二次以降の薬物療法としての FOLFOX 療法の有効性及び安全性の検討 (JON-2107B) デジタルポスター
2. 徳光幸生、河岡 徹、永野浩昭 胆嚢癌疑診例に対する腹腔鏡アプローチによる進展度診断と外科的治療戦略 (YPB-002 LAGBYstudy) パネルディスカッション

第59回日本移植学会総会 9/21-9/23 京都 京都市勤業館みやこめっせ

1. 永野浩昭 臓器横断的シンポジウム4 生体移植ドナーの精神的・身体的サポート 臓器横断的シンポジウム 座長
2. 永野浩昭 生体ドナー安全委員会 生体肝移植ドナーガイドライン WG からの報告 生体ドナー安全委員会 座長

第82回日本癌学会学術総会 9/21-9/23 (ハイブリッド開催) 神奈川 パシフィコ横浜会議センター

1. 小佐々貴博、中島正夫、恒富亮一、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、齋藤 彰、中上裕有樹、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 新規がんワクチンによる肝細胞癌における腫瘍免疫原性向上の試み ポスターセッション
2. 木村祐太、恒富亮一、吉村 清、西山光郎、中島正夫、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 肝癌幹細胞様細胞における NK 細胞からの免疫逃避 ポスターセッション
3. 中島正夫、恒富亮一、友近 忍、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、木村祐太、山本常則、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、玉田耕治、永野浩昭 大腸癌に対する免疫チェックポイント阻害剤治療抵抗性改善を目的とした新規免疫アジュバント製剤による腫瘍免疫原性の向上 ポスターセッション
4. 徳久晃弘、恒富亮一、吉村 清、中島正夫、松井洋人、兼清信介、新藤芳太郎、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 胆道癌におけるゲムシタピン耐性とエクソソームの相関 ポスターセッション
5. 塩田よもぎ、エルバダウィーモハメド、恒富亮一、永野浩昭、臼井達哉、佐々木一昭 犬肺がんオルガノイドを用いた新規治療標的の探索 ポスターセッション

第61回日本癌治療学会学術集会 10/19-10/21 神奈川 パシフィコ横浜

1. 永野浩昭 学術セミナー48 学術セミナー 司会
2. 永野浩昭 教育講演4 教育講演 司会
3. 木村祐太、中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 教室における腹腔鏡下再肝切除の治療戦略 一般口演

4. 藤原康弘、鈴木伸明、友近忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭
術前化学療法後に前外側大腿皮弁で再建を行った腹壁浸潤を伴う結腸がんの2例 一般口演

JDDW 2023 第30回日本消化器関連学会週間 11/2-11/5 (ハイブリッド開催) 兵庫 神戸コンベンションセンター

1. 永野浩昭 パネルディスカッション1 (肝臓学会・消化器病学会・消化器外科学会)肝細胞癌 Intermediate stage に対する治療戦略司会 パネルディスカッション 司会
2. 徳光幸生、新藤芳太郎、永野浩昭 (肝臓学会・消化器病学会・消化器外科学会)肝細胞癌 Intermediate stage における外科切除の意義を考えるポスター パネルディスカッション
3. 新藤芳太郎、徳光幸生、永野浩昭 (消化器外科学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会・肝臓学会)局所進行膵癌に対する血管合併切除再建の手法と成績 シンポジウム
4. 武田 茂、飯田通久、永野浩昭 (消化器外科学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会・肝臓学会)術前化学療法を行う食道癌患者に対する栄養介入の有効性 ワークショップ
5. 中島正夫、玉田耕治、永野浩昭 (消化器病学会・消化器内視鏡学会・肝臓学会・消化器外科学会)肝細胞癌における免疫チェックポイント阻害剤耐性の克服を目指した 新規がんワクチンによる腫瘍免疫原性の向上の試み シンポジウム
6. 友近 忍、鈴木伸明、永野浩昭 (消化器外科学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会)直腸癌骨盤内再発に対する積極的な外科治療は予後を改善するのか シンポジウム
7. 鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 (消化器外科学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会)下部進行直腸癌に対する術前 FOLFOXIRI 療法の検討 パネルディスカッション
8. 松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 (消化器外科学会)根治を企図した切除後に非治癒因子が判明した膵癌症例の検討 デジタルポスターセッション

第78回日本大腸肛門病学会学術集会 11/10-11/11 熊本 熊本城ホール

1. 小佐々貴博、鈴木伸明、友近 忍、藤原康弘、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 75 歳以上高齢者におけるpStageIII 大腸癌の術後補助化学療法に関する検討 一般演題 (口演)
2. 藤原康弘、鈴木伸明、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭
閉塞性大腸癌に対する減圧治療法における治療成績の検討 一般演題 (ポスター)

第85回日本臨床外科学会総会 11/16-11/18 岡山 岡山県医師会館 岡山コンベンションセンター ホテルグランヴィア

1. 永野浩昭 ビデオワークショップ3 肝がん・胆道がんに対する血行再建を伴う肝切除の工夫と成績 ビデオワークショップ 司会
2. 永野浩昭 総会特別企画6-2 プレーヤー外科医からマネジャー外科医への変容を成功に導くには何が必要か? ②
総会特別企画 司会
3. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、木村祐太、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭
集学的治療の一環としての多発肝癌に対する外科的切除の意義 シンポジウム
4. 松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、中島正夫、木村祐太、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭
教室における膵神経内分泌腫瘍切除症例の治療成績と切除適応の検討 ワークショップ
5. 矢ヶ部朗、古谷 圭、飯田通久、武田 茂、渡邊裕策、中島千代、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭
胃軸捻転を伴う成人 Bochdalek 孔ヘルニアに対して腹腔鏡下手術を行った1例 研修医セッション
6. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、木村祐太、兼定 航、友近 忍、渡邊裕策、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭
大腸癌肝転移に対する術前 FOLFOXIRI 療法の安全性と有用性の検討 パネルディスカッション

第36回日本内視鏡外科学会総会 12/7-12/9 神奈川 パシフィコ横浜

1. 永野浩昭 一般演題 (口演) 32 肝臓 系統的切除 一般演題 (口演) 司会
2. 木村祐太、中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭
腹腔鏡下肝切除術における長時間の肝流入血流遮断が与える影響 ミニオーラル
3. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、中島正夫、木村祐太、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭
教室における消化管再建後総胆管結石に対する腹腔鏡手術の治療戦略 一般演題 (口演)
4. 鈴木伸明、友近 忍、藤原康弘、中島正夫、西山光郎、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、永野浩昭
当科における TaTME の導入と治療成績 ミニオーラル

5. 飯田通久、武田 茂、中島千代、山本常則、西山光郎、渡邊裕策、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、鈴木伸明、永野浩昭 胃全摘 + 脾摘術における低侵襲手術の工夫と成績 一般演題 (口演)
6. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、木村祐太、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 肝細胞癌に対する腹腔鏡下尾状葉部分切除の治療成績と腹腔鏡補助下尾状葉全切除の経験 一般演題 (口演)
7. 西山光郎、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、中島千代、山本常則、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 右上葉気管分岐異常を伴う胸部食道癌に対して胸腔鏡下食道切除を行った1例 ミニオーラル
8. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、木村祐太、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 膵体尾部癌に対する腹腔鏡下膵体尾部切除術の有用性 ミニオーラル
9. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、木村祐太、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 ロボット支援下肝切除における肝離断法 一般演題 (口演)
10. 藤原康弘、鈴木伸明、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、永野浩昭 教室における局所進行直腸がんに対する術前化学療法の治療成績 ミニオーラル
11. 西田裕紀、鈴木伸明、藤原康弘、中島正夫、西山光郎、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、武田 茂、永野浩昭 Pembrolizumab が奏効しR0手術を施行し得た多発肝転移を伴う MSI-High 大腸癌の1例 ミニオーラル
12. 兼定 弦、飯田通久、武田 茂、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、山本常則、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、永野浩昭 当科での腹腔鏡下幽門側胃切除術のBillroth-II 法と Roux-en-Y 法の比較 一般演題 (口演)

第36回日本バイオセラピー学会学術集会総会 12/13-12/14 JSBT2023 東京 昭和大学上條記念館

1. 永野浩昭 モーニングセミナー 乳酸菌代謝物 EPS による免疫チェックポイント阻害剤の抗腫瘍効果の増強 モーニングセミナー 座長
2. 小佐々貴博、中島正夫、恒富亮一、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、齋藤 彰、中上裕有樹、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 新規複合免疫療法による肝細胞癌の腫瘍免疫原性向上の試み JSBT会員要望演題
3. 藤井敏之、裕 彰一、日野啓輔、沖田 極、徳光幸生、新藤芳太郎、中島正夫、恒富亮一、井岡達也、永野浩昭 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法により完全壊死を来した症例の免疫学的解析 一般演題
永野浩昭 高齢者胃癌手術における短期および長期成績に影響を及ぼす予測因子の探索 デジタルポスターセッション
4. 木村祐太、恒富亮一、吉村 清、西山光郎、中島正夫、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 肝癌幹細胞様細胞における免疫逃避能亢進 一般演題
5. 山本常則、恒富亮一、中島正夫、鈴木伸明、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 切除可能大腸癌患者における IL-6 発現と予後、腫瘍間質免疫抑制性細胞の関係 一般演題
6. 中島正夫、恒富亮一、小佐々貴博、木村祐太、山本常則、玉田耕治、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、裕 彰一、井岡達也、永野浩昭 免疫チェックポイント阻害剤に抵抗性の MSH-High 大腸癌に対する免疫複合製剤による治療効果の向上 一般演題

第36回日本外科感染症学会総会学術集会 12/15-12/16 福岡 北九州国際会議場

1. 武田 茂 一般演題 (ポスター) 13 手術手技ドレナージ3 一般演題 (ポスター) 座長
2. 武田 茂、西山光郎、渡邊裕策、飯田通久、中島千代、山本常則、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、鈴木伸明、永野浩昭 胸部食道切除術における感染性合併症軽減の工夫 シンポジウム

地方会発表・司会

6th Toyama Surgical Seminar 1/13 ZOOM

1. 永野浩昭 大阪の外科医が山口で進める肝胆膵外科 特別講演

TOPAZ-1試験 Webシンポジウム 1/27 ZOOM

1. 井岡達也 ～長期生存を目指したイミフィンジ+ GC 併用療法の臨床導入～ シンポジウム

第43回九州肝臓外科研究会学術集会 1/28 福岡 パビオン24

1. 永野浩昭 主題3 腹腔鏡下 S7・S8 切除の工夫 主題 司会
2. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、渡邊裕策、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 胆嚢板牽引法を応用した肝門部 Glissonian approach による腹腔鏡下肝 S8 亜区域切除術 主題
3. 古谷 圭、中島正夫、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 腹腔鏡下肝切除術におけるアセトアミノフェン注射液の定時投与による術後鎮痛法の検討 一般演題 症例報告
4. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 Difficulty score と Pringle 法を軸とした腹腔鏡下再肝切除における治療ストラテジー 一般演題 症例報告

第5回山口食道がん研究会（ハイブリッド開催）2/1 山口 ANAクラウンプラザホテル宇部

1. 武田 茂 一般演題 座長
2. 永野浩昭 特別講演 座長
3. 西山光郎 山口食道がん研究会アンケート報告 一般演題

生涯教育講座 2022年度第2回東北肝・代謝疾患研究会 2/7 (WEB開催)

1. 永野浩昭 大阪の外科医が山口で進める肝胆膵外科 講演

肝胆膵エビデンス Update 2023 Winter 2/11 ZOOM

1. 永野浩昭 Sponsored Session A Sponsored Session 司会
2. 井岡達也 Sponsored Session B Sponsored Session 司会

TAIHO Web Lecture on Biliary Tract Cancer 2/14 ZOOM

1. 井岡達也 胆道癌における GCS 療法のポテンシャル～現在と今後を考える～

第2回Breast Cancer Web Seminar in YAMAGUCHI～進行再発乳癌治療における QOL を考える～ 2/16 WEB開催

1. 永野浩昭 特別講演 ディスカッション 座長

Lilly Breast Cancer Web Conference 早期乳癌治療について考える～外科療法から薬物療法まで～ 2/24 広島 シェラトングランドホテル広島

1. 前田訓子 ディスカッション ディスカッサント

山口消化器癌集学的治療研究会（ハイブリッド開催）3/1 山口 ANAクラウンプラザホテル宇部

1. 永野浩昭 特別講演 座長
2. 井岡達也 山口大学での大腸癌治療 特別講演

山口県サイコロロジーフォーラム 3/22 WEB開催

1. 井岡達也 がん治療 UPDATE ～消化器がんを中心に～ 特別講演

膵胆道癌 Expert Web Seminar 3/29 ZOOM

1. 井岡達也 今後の膵・胆道癌化学療法の治療方針を紐解く 特別講演

第3回 irAE Management WEB Seminar in Yamaguchi～病病・院内連携の充実を目指して～ 3/30 WEB開催

1. 井岡達也 山口大学医学部附属病院への紹介/院内連携 講演

胆道癌適応拡大記念講演会 4/4 広島 TKPガーデンシティPREMIUM 広島駅北口3E

1. 井岡達也 胆道癌薬物療法の『新時代』～ Durvalumab を使いこなす～ 特別講演

がん治療のリスク・ベネフィット考える会 4/6 山口 ANAクラウンプラザホテル宇部

1. 井岡達也 特別講演 座長

第11回山口乳癌研究会 4/12 WEB開催

1. 永野浩昭 Session2 Session 司会
2. 前田訓子 山口県の術前化学療法の現状について 講演ディスカッション

山口県がん化学療法WEBセミナー 4/13 ZOOM

1. 井岡達也 WEBセミナー 座長

兵庫胆道がんゲノムセミナー 4/18 WEB開催

1. 井岡達也 ゲノム時代の胆道癌薬物治療 講演

最新の胆道がん診療を考える会 4/19 ZOOM

1. 井岡達也 胆道癌薬物療法の『新時代』～ Durvalumab を使いこなす～ 特別講演
2. 永野浩昭 がん診療における多職種連携の意義 特別講演

Lilly Oncology 乳がんチーム医療 WEBセミナー (ハイブリッド開催) 4/20 山口 国際ホテル宇部

1. 前田訓子 特別講演 I 特別講演 II 総司会

膵臓癌 Expert Web 講演会 (ハイブリッド開催) 4/24 岡山 倉敷中央病院

1. 井岡達也 膵・胆道癌化学療法の新展開 特別講演

第28回Cancer Forum in Yamaguchi (ハイブリッド開催) 5/17 山口 ANAクラウンプラザホテル宇部

1. 永野浩昭 特別講演2 手術手技 特別講演 座長

山口県臨床検査技師会 6/4 WEB研修会

1. 前田訓子 乳がん治療方針決定に必要なバイオマーカーについて 講演 講師

第81回山口県臨床外科学会 6/4 山口 防府市地域交流センター(アスピラート)ルルサス防府

1. 佐藤哲也、藤村秀明、鈴木有十夢、西村 拓、新藤芳太郎、瀬戸口美保子 当院で経験した ICPN の 1例 一般演題
2. 石 彰一、藤井敏之、織方良介、藤瀬悠太、吉田一也、井上幹茂、日野啓輔、山下 仰、藤原大輔、恒富亮一、永野浩昭、石原得博、亀井敏昭、永坂岳司、池田昭彦、梶山實香、橋谷田博、中元賢武、沖田 極 回盲部腸重積で発見された Lynch 症候群疑いの若年性大腸癌の 1例 一般演題

城北肝胆カンファレンス 6/8 東京 池袋ホテルメトロポリタン

1. 井岡達也 胆道癌薬物療法の『新時代』～ Durvalumab を使いこなす～ 特別講演

TAIHO Web Lecture on Biliary Tract Cancer 6/12 WEB開催

1. 井岡達也 胆道癌治療における GCS 療法の位置づけ 一般講演

Esophageal Cancer Seminar in Yamaguchi 6/20 WEB開催

1. 永野浩昭 特別講演 座長
2. 井岡達也 どうする！？ 進行・再発食道癌 特別講演

岡山乳がんゲノム医療セミナー 6/22 (ハイブリッド開催) 岡山 岡山コンベンションセンター

1. 前田訓子 テーマ：乳がん診療における CGP 検査の意義 パネルディスカッション パネリスト

第56回備後肝胆膵研究会 6/27 ZOOM

1. 井岡達也 今後の胆道癌化学療法の治療方針を紐解く～進行再発から周術期まで～ 特別講演

第3回肝胆膵外科手術手技セミナー 7/4 ZOOM WEB開催

1. 新藤芳太郎 当院における膵臓内視鏡外科について 一般演題
2. 永野浩昭 山口大学における肝胆膵外科の現状と展望 特別講演

Pancreatic Cancer Seminar 7/4 WEB開催

1. 井岡達也 最新の膵・胆道癌治療 Up to Date 特別講演

第13回山口膵・胆道疾患研究会 7/5 ZOOM

1. 永野浩昭 座長
2. 井岡達也 食道癌薬物療法、臨床試験結果を日常診療に活かす 特別講演

食道癌薬物治療と、癌治療に伴う不眠に関する講演会 7/10 WEB開催

1. 永野浩昭 特別講演 座長

Yamaguchi Surgical Seminar 7/25 ZOOM

1. 徳光幸生 一般講演 座長
2. 永野浩昭 特別講演 座長
3. 木村祐太 消化器外科領域における DIC 治療 一般講演

肝胆膵エビデンス Update 2023 Summer 7/29 ZOOM

1. 永野浩昭 Session1 Session2 Session Opening Remarks
2. 永野浩昭 Sponsored Session B Sponsored Session 司会

食道癌治療 Web Seminar 8/3 WEB開催

1. 井岡達也 攻める食道癌治療 どこまでできるのか？ 当院の症例から 特別講演

奈良消化器がんフォーラム 8/4 (ハイブリッド開催) 奈良 ミグランス

1. 永野浩昭 肝細胞癌に対する外科治療の現状 特別講演

膵臓癌 Expert Web Lecture in高知 8/18 (ハイブリッド開催) 高知 高知大学医学部

1. 井岡達也 どうなる！？ 今後の胆道癌における薬物治療戦略

Scientific Exchange Meeting 胆道癌 Scientific Exchange Meeting 9/1 ZOOM

1. 井岡達也 Session1 : Special Lecture TOPAZ-1時代に肝胆膵外科医が挑む Session Special Lecture 座長
2. 井岡達也 Session2 : 総合討論 Session 司会
3. 永野浩昭 Session1 : Special Lecture TOPAZ-1時代に肝胆膵外科医が挑む Session Special Lecture 座長
4. 永野浩昭 Session2 : 総合討論 Session パネリスト

第20回日本乳癌学会中国四国地方会 9/22-23 広島 広島県医師会館

1. 前田訓子 イブニングセミナー2 イブニングセミナー 座長
2. 前田訓子 教育セミナー 司会
3. 前田訓子、鍋屋まり、周山理紗、為佐路子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、山本 滋、永野浩昭 外科的治療を施行した85歳以上高齢者乳癌症例の検討 一般演題
4. 長島由紀子、酒井豊吾、周山理紗、前田訓子、山本 滋、永野浩昭 当院における Triple Negative 早期乳癌に対する術前・術後薬物療法としての Pembrolizumab の使用経験 一般演題

山口大腸がんセミナー 9/26 山口 国際ホテル宇部

1. 井岡達也 特別講演1 特別講演 座長
2. 永野浩昭 特別講演2 特別講演 座長

第176回関豊病薬会研修会 9/28 山口 海峡メッセ下関

1. 井岡達也 胃癌患者に関する諸問題をチーム医療でマネージする 講演

第13回肝胆膵フォーラム in Yamaguchi 10/4 WEB開催

1. 井岡達也 一般講演 座長
2. 永野浩昭 特別講演 座長

HEMOVISION Web Seminar for HPB 10/23 WEB開催

1. 永野浩昭 座長

消化器癌診療 Update in Yamaguchi 11/8 (ハイブリッド開催) 山口 国際ホテル宇部

1. 永野浩昭 特別講演 座長

第14回山口膵・胆道疾患研究会 11/10 WEB開催

1. 永野浩昭 特別講演 座長

第7回大分手術手技フォーラム 11/14 大分 ホテル日航大分 オアシスタワー

1. 永野浩昭 肝胆膵領域がんに対する集学的治療 特別講演 講師

Scientific Exchange Meeting ～原発性肝癌の最新エビデンス～ 11/15 WEB開催

1. 永野浩昭 Special Lecture 座長

第17回肝臓内視鏡外科研究会 第15回膵臓内視鏡外科研究会 11/15 岡山 岡山コンベンションセンター

1. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、木村祐太、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 ロボット支援下肝切除における肝離断法のコツ 一般演題
2. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、木村祐太、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 ロボット支援下肝切除における安全で簡便な Pringle 法施行の方法 一般演題
3. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、木村祐太、井岡達也、永野浩昭 ICG 蛍光法を用いて脾血流を評価した腹腔鏡下 Warshaw 手術の2例 一般演題

第6回山口肝移植診療検討会 11/17 WEB開催

1. 永野浩昭 開会挨拶 座長

高齢者がん治療セミナー 11/22 山口 国際ホテル宇部

1. 永野浩昭 一般講演 特別講演 座長
2. 井岡達也 あきらめない高齢者がん治療 当院における高齢者がん治療の取り組み 特別講演

第16回南大阪肝疾患治療研究会 11/25 大阪 スイスホテル南海大阪

1. 永野浩昭 肝細胞癌外科治療の現状 特別講演

第2回山口消化器・感染症フォーラム 11/30 WEB開催

1. 飯田通久 教育講演 座長
2. 永野浩昭 特別講演 座長

第25回北海道腫瘍外科症例検討会 特別講演会 12/2 北海道 ANAクラウンプラザホテル札幌

1. 永野浩昭 膵・胆道癌に対する集学的治療 特別講演

第45回日本肝臓学会西部会 12/7-8 京都 国立京都国際会館

1. 永野浩昭 ワークショップ3 予後改善に向けた胆道癌の集学的治療 ワークショップ 司会

山口県消化器癌リモート講演会 12/15 WEB開催

1. 永野浩昭 ワークショップ3 予後改善に向けた胆道癌の集学的治療 ワークショップ 司会
2. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、中島正夫、木村祐太、井岡達也、永野浩昭 腫瘍の局在に応じた腹腔鏡下内側区域切除術の定型化 一般演題
3. 木村祐太、中島正夫、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、井岡達也、永野浩昭 教室における再肝切除を見据えた腹腔鏡下肝切除の手術戦略 一般演題
4. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、木村祐太、井岡達也、永野浩昭 腹腔鏡下肝切除術におけるアセトアミノフェン静注の定時投与による術後鎮痛の検討 一般演題
5. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、坂元亨宇、裕 彰一、井岡達也、永野浩昭 新規複合免疫療法による肝細胞癌の腫瘍免疫原性向上の試み 一般演題

ペマジールR錠4.5mg発売2周年記念 Digital Summit 胆道癌におけるパネル検査の実際とOS 延長を目指したペマジール使用の工夫 12/9 WEB開催

1. 井岡達也 OS 延長を目指したペマジールの副作用対策 -高リン酸血症・爪障害・眼障害を中心に-
2. 井岡達也 OS 延長を目指した胆道癌の包括的な治療戦略を考える 総合討論 パネリスト

食道癌治療マネジメントセミナー 12/14 宮城 ウェスティンホテル仙台

1. 井岡達也 多職種で挑む！食道癌の標準治療 特別講演

北東北がん医療コンソーシアム特別講演会 12/16 青森 弘前大学大学院医学研究科健康未来イノベーションセンター

1. 井岡達也 がん診療、どう連携すれば上手くいくか？ 特別講演

研究費取得状況

(2023年12月31日時点)

種別	事業名	研究者名	代表・分担	交付額	研究課題名
科研費	基盤研究(C)	井岡達也	代表	1,820,000	膵癌に対する個別化医療展開のための至適薬物療法選択に関する研究
科研費	基盤研究(C)	武田 茂	代表	1,300,000	膵癌に化学療法副作用関連バイオマーカーの探索と診断チップの開発
科研費	基盤研究(C)	恒富亮一	代表	1,300,000	肝がんのがん幹細胞性獲得と免疫監視逃避における細胞間コミュニケーションの解析
科研費	基盤研究(C)	友近 忍	代表	1,040,000	抗EGFR抗体は大腸癌を"Hot tumor"に変えることができるか
科研費	若手研究	渡邊 裕策	代表	1,690,000	独自に誘導した食道癌幹細胞様細胞を用いた食道癌治療抵抗性の解析
科研費	基盤研究(C)	前田訓子	代表	2,200,000	乳癌患者由来オルガノイドを用いた抗癌剤耐性機構の解明
科研費	若手研究	徳光 幸生	代表	1,560,000	個別化診療を見据えた膵癌克服のための癌幹細胞と腫瘍微小環境に関する研究
科研費	基盤研究(C)	新藤芳太郎	代表	1,820,000	腫瘍と宿主の動的平衡状態の解明による膵癌個別化治療の開発
科研費	若手研究	松井洋人	代表	2,470,000	腫瘍浸潤マクロファージにおけるsiglec-7の機能解明と新規治療法の開
科研費	若手研究	西山光郎	代表	1,950,000	胆道がんゲムシタピン耐性化におけるがん幹細胞性を標的とした治療法開
科研費	若手研究	中島 正夫	代表	1,170,000	腫瘍および宿主両面からみた複合バイオマーカー探索にもとづく膵癌個別化治療への展開
科研費	若手研究	中島 千代	代表	1,690,000	腫瘍血管新生を標的としたProtenase-3の機能解明と新規治療法の開



令和5年6月1日新設
「高齢者がん治療センター」



山口県から情報発信する必要があり、高齢者がん治療センターを立ち上げたいと考えています。井岡 達也 教授

山口県から情報発信する必要があり、高齢者がん治療センターを立ち上げたいと考えています。井岡 達也 教授

山口県から情報発信する必要があり、高齢者がん治療センターを立ち上げたいと考えています。井岡 達也 教授



山口県から情報発信する必要があり、高齢者がん治療センターを立ち上げたいと考えています。井岡 達也 教授

山口県から情報発信する必要があり、高齢者がん治療センターを立ち上げたいと考えています。井岡 達也 教授

高齢者がん治療センター
開設記念講座



「進行がんが治療する時代」
→ 高齢を理由に断らないがん治療を目指す

山口県から情報発信する必要があり、高齢者がん治療センターを立ち上げたいと考えています。井岡 達也 教授



山口県から情報発信する必要があり、高齢者がん治療センターを立ち上げたいと考えています。井岡 達也 教授

5

Kirara FM80.4MHz VOL.79
MAGAZINE

字部 偉介
字部 偉介 前市長
第3代、第4代 字部市長

字部の歴史 字部を創った
紀藤閑之介翁

6

AstraZeneca

第59回
日本胆道学会学術集会
記録集

2023年9月14日(木)・15日(金)
京王プラザホテル札幌

山口県がん治療
最新情報

山口大学医学部附属病院
Yamaguchi University Hospital

大腸がん検診の重要性について

● 大腸とは
大腸は、全長約1.5m~2m、直経約5~7cm(小腸の2~3倍)、で小腸時計回り
に取り巻くように位置しています。大腸は、盲腸、結腸、直腸に区分され、結腸はさらに上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸に分けられます。

● 大腸がんの原因
最大の要因は真生活の欧米化と考えられています。昔と比べて肉類、卵、乳製品など、脂肪分や動物性たんぱく質の摂取が増える一方、腸内の調子を乱し腸がんの発症率を高めます。

● 大腸がんの検診
40歳になったら年に1回、便潜血検査による検診をお勧めします。大腸がんは比較的進行が早く、早期に発見することが

でなければなりませんが、検診が可能な確率です。大腸がんの危険年齢に達し推定40歳になったら、年に1回は便潜血検査による検診を受けてください。検診を受けることで、大腸がんの発生リスクを減らすことができます。また、大腸がんの発生リスクを減らすためには、検診を受けることが重要です。

● 自治体が実施する検診ではなく、臨床がん検診を受けることが可能です。便潜血検査を省き、また、大腸内視鏡検査から受検することも可能です。また、大腸内視鏡検査は、診断するとともに、小さな大腸腫瘍なら内視鏡的に切除することも可能です。検診の多い消化器内科医または消化器外科医が実施すれば、多くの場合、大腸

内視鏡検査の費用は多くはありません。また、最近の下部は飲みやすく改良されており、若手の努力が必要なことが可能になりました。この機会に大腸がんを克服したい方は、普段の食生活が欧米化されていると自覚されている方については、是非、40歳代から大腸内視鏡検査を受けることを検討してみてください。

山口大学医学部附属病院 腫瘍センター
准教授 井岡 達也

0836-22-2068

診療時間/検査 受付時間 9時~11時30分
診療時間/検査 受付時間 9時~11時30分
診療時間/検査 受付時間 9時~11時30分

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学
TEL:0836-22-2264 http://www.yamaguchi-u.ac.jp
山口大学医学部附属病院 腫瘍センター
TEL:0836-22-2170 http://doc.yamaguchi-u.ac.jp/shuppu/index.html

Clinical and research conference

2023.2.18 - winter

時間		全体進行係： 飯田通久 先生
7:30-7:33	1. 教授挨拶	永野浩昭 教授
7:33-9:23	2. 各診療グループ報告	司会： 鈴木伸明 先生
	上部消化管グループ	武田 茂 先生
	下部消化管グループ	鈴木伸明 先生
	肝胆膵グループ	徳光幸生 先生
	乳腺・内分泌グループ	前田訓子 先生
	腫瘍センター	井岡達也 先生
	研究グループ	恒富亮一 先生
	高齢者研究グループ	新藤 芳太郎 先生
	早期外科教育グループ	渡邊裕策 先生
9:23-17:11	3. Clinical and Research Conference	午前司会： 武田 茂 先生 午後司会： 鈴木伸明 先生
	小佐々 貴博	Elucidating Mechanisms for Enhancing Tumor Immunogenicity to Overcome Therapeutic Limitations of Immune Checkpoint Inhibitors for HCC
	太田啓介	Anti-tumor efficacy of CAR-T cells against cancer organoids.
	徳久晃弘	Study of mechanisms of gemcitabine resistance in biliary-tract-cancer
	古谷 圭	Serum proteinase-3 levels as a predictor of chemosensitivity and progression-free survival in metastatic colorectal cancer
	鄭 桓宇	Examination of the role of phosphorylation of Paxillin in cancer metastatic ability
	近藤潤也	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer
	兼定 航	Prediction of adverse events of triplet chemotherapy (FOLFIRINOX therapy and FOLFOXIRI therapy) by genetic polymorphisms for precision medicine
	徐 明	Overexpression of miRNAs in the cancer is associated with malignant potential in colorectal cancer.
	山本常則	IL-6 levels correlate with prognosis and immunosuppressive stromal cells in patients with colorectal cancer
	山田健介	Safety of gemcitabine, cisplatin and S-1 (GCS) therapy for elderly biliary tract cancer patients
	中島正夫	Overcoming therapeutic resistance of αPD-1ab against solid tumor through combined novel peptide-vaccination and αPD-1ab
	西山光郎	Usefulness of prophylactic minitracheostomy and broad spectrum antibiotic after esophagectomy
	松井洋人	Development of novel risk prediction system for postoperative pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy
	新藤芳太郎	The efficacy of staging laparoscopy in patients with pancreatic cancer: A single center prospective cohort study
	徳光幸生	Novel laparoscopic approaches as the total biopsy methods for suspected gallbladder cancer
	渡邊裕策	Low skeletal muscle index is a predictor of postoperative pneumonia
	友近 忍	Real-time Vessel Navigation Using Indocyanine Green Fluorescence during Laparoscopic Colorectal Cancer Surgery
	前田訓子	Preoperative diagnosis of SLN metastasis using CT-lymphography
	飯田通久	Predictors of postoperative infectious complications after gastrectomy for the elderly
	鈴木伸明	Current Status of Vaccine Immunotherapy for Gastrointestinal Cancers
	武田 茂	Efficacy of nutrition intervention combined neoadjuvant chemotherapy for Esophageal Cancer
	兼定 弦	Future plan
	西田裕紀	Future plan
	堤 甲輔	Future plan
	佐伯晋吾	Future plan
	梅野紘希	Future plan
17:11-17:22	4. 総括	永野浩昭 教授

研究者発表会議

2023.7.22 - summer

時間		全体進行係：飯田通久 先生
8:30~8:33	1. 開会の言葉	永野浩昭 教授
8:33~8:53	2. プロジェクト報告	司会：飯田 通久先生(前半)
	高齢者前向き研究	新藤 芳太郎 先生
	医獣工連携プロジェクト	太田啓介 先生
8:53~15:03	3. 研究者発表会議	司会：武田 茂先生(前半)、鈴木伸明先生(後半)
	兼定弦	Immune evasion in cancer stem-like cells derived from hepatoma cell line. Prediction of adverse events of triplet chemotherapy using gene polymorphisms.
	古谷 圭	Serum proteinase-3 levels as a predictor of chemosensitivity and progression-free survival in metastatic colorectal cancer
	西田裕紀	Search for biomarker predicting early recurrence after resection for the PDAC patients with NAC Elucidating the relationship between PRTN3 and angiogenesis
	小佐々 貴博	Elucidating Mechanisms for Enhancing Tumor Immunogenicity to Overcome Therapeutic Limitations of Immune Checkpoint Inhibitors for HCC
	太田啓介	Anti-tumor efficacy of CAR-T cells against cancer organoids.
	徳久晃弘	Study of mechanisms of gemcitabine resistance in biliary-tract-cancer
	鄭 桓宇	Examination of the role of phosphorylation of Paxillin in cancer metastatic ability
	徐 明	Overexpression of miRNAs in the cancer is associated with malignant potential in colorectal cancer.
	山本常則 (公聴会予行)	IL-6 levels correlate with prognosis and immunosuppressive stromal cells in patients with colorectal cancer
	中島千代	Impact of postoperative infectious complications of gastric cancer on death from other causes: A propensity score matching analysis
	藤原康弘	Preliminary analysis of neoadjuvant FOLFOXIRI for Locally advanced rectal cancer
	近藤潤也	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer
	木村祐太	The influence of prolonged hepatic inflow occlusion on postoperative liver function in laparoscopic liver resection
	中島正夫	Overcoming therapeutic resistance of aPD-1ab against solid tumor through combined novel peptide-vaccination and aPD-1ab
	松井洋人	Development of novel risk prediction system for postoperative pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy
	新藤芳太郎	The efficacy of staging laparoscopy in patients with pancreatic cancer: A single center prospective cohort study
	徳光幸生	Novel laparoscopic approaches as the total biopsy methods for suspected gallbladder cancer
	渡邊裕策	Low skeletal muscle index is a predictor of postoperative pneumonia
	友近 忍	Pilot Study of neoadjuvant FOLFOXIRI for Locally advanced lower rectal cancer
	前田訓子	Preoperative diagnosis of SLN metastasis using CT-lymphography
	飯田通久	Predictors of postoperative infectious complications after gastrectomy for the elderly
	鈴木伸明	Accuracy of CT enterography to detect lesions preoperatively in patients undergoing surgery for Crohn's disease
	武田 茂	Efficacy of nutrition intervention combined neoadjuvant chemotherapy for Esophageal Cancer
	堤 甲輔	future plan
	瀨崎 太郎	future plan
15:03-15:33	4. 総括	永野浩昭 教授

学位取得者報告

恒富 亮一 平成16年卒



令和5年2月に学位を取得させて頂きました恒富亮一です。私の学位論文は、「RAB3Bの発現上昇は肝がんの化学療法抵抗性と転移能に重要な役割を果たす」です。この研究では、大学院生達が明らかとしてきた肝がん幹細胞の特性である抗癌剤耐性や転移能の獲得が、RAB3B遺伝子を介したエクソソーム放出によって成されていることを明らかとしました。本研究が今後の癌幹細胞研究の発展および治療法開発の一助となれば幸いです。私は博士(農学)の学位取得後に消化器・腫瘍外科学での研究に取り組んでまいりました。この度、永野教授より論文博士の機会を頂き、博士(医学)を取得することができました。医学部出身でないにも関わらず、教室員の皆様には暖かく受け入れていただき、また、大学院生の指導にもあたらせていただいています。今回の学位取得を機にあらためて皆様と医学研究に邁進してまいりたい所存です。

本研究にあたり、ご指導いただきました永野浩昭先生、並びに、岡正朗先生、飯塚徳男先生、吉村清先生に深甚なる謝意を表します。大学院生として本研究に関わってくれた橋本憲輝先生、西山光郎先生、木村祐太先生、ありがとうございました。また、山口大学消化器・腫瘍外科学の皆様にも深謝いたします。

木村 祐太 平成22年卒

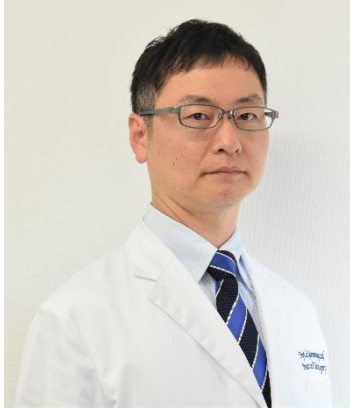


令和5年3月に学位を取得させていただきました木村祐太です。私のテーマは肝癌幹細胞様細胞の免疫逃避能に関する研究です。近年、NK細胞は癌の転移の抑制に関わっていると考えられていますが、肝癌幹細胞様細胞ではこのNK細胞からの逃避能が亢進していることを明らかにしました。教室では過去に、肝癌幹細胞様細胞は転移能が亢進していることを報告してきましたが、NK細胞から逃避することで、さらに転移形成に有利に働いていることが示唆されます。今後、この研究を発展させ、最終的には転移の制御に結び付けることができればと考えています。

期待通りの結果にならないことの方が多かったように思いますが、それでも時間をかけて準備した実験で、仮説通りの結果が得られたときの喜びは言葉で表せられないものでした。研究の機会を与えていただき、論文作成までご指導いただいた永野教授、実験計画から結果の解釈、データ整理まできめ細やかにサポートいただいた恒富先生に深謝申し上げます。そして技術的支援をいただいた技術補佐員の皆様にも感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

学位取得者報告

山本 常則 平成22年卒



令和5年9月に学位を取得させて頂きました山本常則です。私の学位論文は「切除可能結腸直腸癌患者におけるIL-6発現と予後、腫瘍間質免疫抑制性細胞の関係」です。これまでの研究では、全身性の炎症と癌患者の予後不良との関係が報告されてきましたが、腫瘍局所の免疫状態と全身の炎症については十分な理解が進んでいませんでした。本研究では、代表的な炎症性マーカーであるIL-6の血中濃度上昇が、大腸癌患者における間質細胞のIL-6発現に相関することに加え、腫瘍微小環境のMDSCやeTreg等の免疫抑制細胞の蓄積と関連しすることを明らかにしました。本研究が今後の大腸癌免疫の理解と治療法開発の一助となれば幸いです。

本テーマを与えていただき、ご指導いただきました永野先生、裕先生に深謝申し上げます。またリバイス対応にも親身にアドバイスを下さり、粘り強くご指導いただいた恒富先生、中島正夫先生に心より感謝申し上げます。また実験について1から教えていただきました徐先生、技術補佐員の皆様に感謝申し上げます。今後も大学院での研究活動を通して培った科学的思考を大切に、リサーチマインドをもった臨床医として、研鑽に努めて参りたいと存じます。どうもありがとうございました。

中上 裕有樹 平成23年卒



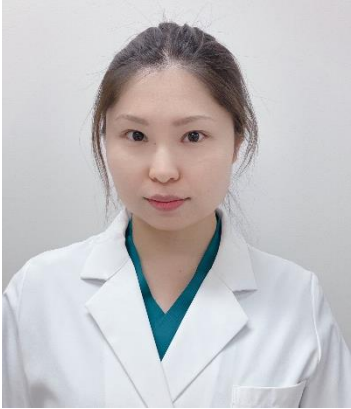
この度、早期修了により博士（医学）の学位を取得させて頂きました、中上裕有樹です。まずは学位取得にあたり、ご指導戴きました永野浩昭先生、並びに、裕彰一先生、恒富亮一先生に心からの謝意を表明いたします。本当に、ありがとうございました。また、同門の臨床の先生方にも深く感謝申し上げます。

学位論文は「CD4 and FOXP3 as predictive markers for the recurrence of T3/T4a stage II colorectal cancer: applying a novel discrete Bayes decision rule (T3/T4a ステージII大腸がんの再発予測マーカーとしてのCD4およびFOXP3：離散ベイズ識別則を応用して)」です。本研究では、統計的パターン認識の手法である離散ベイズ識別則を応用することにより、T3/T4aステージIIの大腸がん患者の再発を予測するマーカーの最適な組み合わせを抽出しました。従来のステージ分類では不十分な患者の層別化が今後より可能になれば大変嬉しく思います。

2018年の夏、学問的にはある意味異分野であったであろう統計学・データサイエンス出身の人間を、消化器・腫瘍外科学講座の皆様には大変温かく受け入れて戴きました。本当に、とても良い思い出でいっぱいです。現在は下関市立大学にもおりますので、下関市などとも連携して先生方とも色々な共同研究を進めていければと思います。どうぞ引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

学位取得者報告

千々松 日香里 平成24年卒



令和4年度に学位を取得させて頂きました千々松日香里です。大学院では大腸癌の予後不良バイオマーカーの探索をテーマとして研究を行いました。本研究では血清C-C motif chemokine ligand 7 (CCL7) が転移を伴う大腸癌の新規予後マーカーとなりうるということが明らかになりました。バイオマーカーは予後予測が可能となるだけでなく、今後の治療ターゲットになる可能性があり、本研究が大腸癌診療の一助となれば幸いです。また、研究活動を通して論文の読み方、書き方、統計など、科学的思考を行うにあたり重要な技術を学ぶことができ、これからの診療に活かしていきたいと考えております。実験から論文執筆、学位審査まで辛抱強くご指導いただきました裕先生、恒富先生、永野先生に深謝申し上げます。また、実験技術を教えてくださいました研究助手の皆様、日々の診療において、臨床を支えてくださった先生方にも感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

兼定 航 平成24年卒



このたび、令和5年に学位を取得させて頂きました兼定航です。私の研究テーマは、遺伝子多型による抗癌剤投与時の副作用予測因子の探索でした。これまで当教室では遺伝子多型研究としてUGT1A1*6、*28の変異を持たない患者においても比較的高頻度の好中球減少を認めるという報告がなされていました。学位研究では、UGT1A1とは異なるR3HCC1の遺伝子多型が抗癌剤イリノテカン投与時の好中球減少発症の予測因子になり得ることを検討したものでした。近年大腸癌および膵癌に対してイリノテカン含有の3剤併用化学療法の使用頻度が高くなっており、本研究が強力な化学療法を導入する際に安全かつ有効な治療展開の一助となれば幸いです。大学院の研究活動を通して、研究サンプルの地道な調査、繰り返し繰り返しのデータの統計学的解析、論文執筆における隙のない論理の構築など今後の学術活動の礎を築けたと思います。研究においてご迷惑をおかけすることが多々ありましたが、実験手技から論文作成において最後まで厳しくかつ温かくご指導いただいた恒富先生、永野教授に心より感謝申し上げます。また研究の細かなことまでご指導いただいた先生方、および研究助手の皆様にも感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

新入局者あいさつ

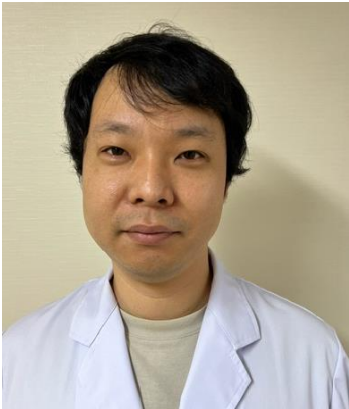
木下 雅仁 平成29年卒



令和5年度入局の木下 雅仁と申します。出身は奈良県立医科大学です。初期研修後、一年間産婦人科医として勤務し、令和元年からの倉敷中央病院での外科研修を経て、山口大学消化器腫瘍外科学講座に入局しました。入局1年目は宇部興産中央病院で、現在は下関医療センターで働いております。大学医局に不安がりましたが、温かく迎えていただき、ご指導ご鞭撻いただいて、外科医として成長を実感しております。

趣味は柔道です。診療で苦しい時には、夏場の寝技を思い出します。抑え込まれどれだけ苦しくとも諦めず汗をかいたことが糧になっています。現役部員であった時に比べ筋力は衰え、強引な投げなどは困難になりましたが、一方で、執刀医として手術を担当するようになり、勝負強さ、粘りという面が充実するようになったと感じます。このように柔道と仕事が互いにより影響を与える状態を個人的に「柔業一致」と呼んでおります。今後も「柔業一致」の精神で診療に邁進する所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

小畑 裕一 令和3年卒



令和5年度に山口大学消化器・腫瘍外科に入局させていただきました小畑裕一と申します。令和3年に鳥取大学医学部を卒業し、令和3年4月から徳山中央病院にて2年間の初期臨床研修を修了いたしました。令和5年4月からは医誠会都志見病院にて1年間勤務させていただきました。手術や術後管理に始まり内視鏡など様々な手技も教えていただきました。令和6年度からは初期臨床研修でお世話になった徳山中央病院に戻り、勤務させていただいております。新しいことを学ぶばかりの日々ですが、ご多忙にもかかわらず時間を割いてご指導くださる先生方から一つでも多くのことを吸収できるよう、日々研鑽を積んでいきたいと思っております。ご迷惑をお掛けすることも多々あると思っておりますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

山谷 優明 令和2年卒



令和5年度に入局しました、山谷優明と申します。2年間宇部興産中央病院で研修を行い、入局1年目に徳山中央病院で勤務し、現在2年目は下関医療センターに勤めております。手術や術後管理などの病棟業務でなく、初診をみさせていただいたり、待機を多く経験したりすることで緊急手術の判断基準や、非定型手術における手術の組み立て方など様々な知識を学ばせていただいております。

今年度は腹腔鏡の技術向上や手術の精度向上を目指し、手技一つ一つに意図をもち、相手になぜそうしたかを説明できるように努力したいと思います。

若輩者ですが、患者さんが元気に笑顔で帰宅できるように日々全力を尽くし精進いたしますので、先輩方の皆様今後ともご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

在籍教室員

(2023年12月31日時点)

教授・診療科長

氏名：永野浩昭（岡山大学医学部 昭和61年卒）
専門：消化器外科、肝胆膵外科、移植外科

准教授（腫瘍センター）

氏名：井岡達也（日本大学医学部 平成2年卒）
専門：化学療法、集学的治療

診療准教授・副科長

氏名：武田 茂（山口大学医学部 平成3年卒）
専門：上部消化管外科、食道外科

講師

氏名：恒富亮一（山口大学農学部 平成16年卒）
専門：癌の分子生物学

助教・病棟医長、医局長

氏名：飯田通久（山口大学医学部 平成11年卒）
専門：上部消化管外科、胃外科

助教・外来医長

氏名：前田訓子（島根医科大学医学部 平成12年卒）
専門：乳腺・内分泌外科

助教（手術部）

氏名：友近 忍（山口大学医学部 平成13年卒）
専門：下部消化管外科

助教

氏名：渡邊裕策（山口大学医学部 平成15年卒）
専門：上部消化管外科、食道外科

助教

氏名：徳光幸生（宮崎医科大学医学部 平成16年卒）
専門：肝胆膵外科

助教

氏名：新藤芳太郎（山口大学医学部 平成16年卒）
専門：肝胆膵外科

助教

氏名：松井洋人（山口大学医学部 平成17年卒）
専門：肝胆膵外科

助教

氏名：周山 理紗（筑波大学医学部 平成22年卒）

助教（集中治療部）

氏名：瀨崎 太郎（山口大学医学部 平成27年卒）

診療助教

氏名：西山光郎（長崎大学医学部 平成19年卒）
専門：上部消化管外科、食道外科

診療助教

氏名：中島正夫（山口大学医学部 平成21年卒）
専門：肝胆膵外科

診療助教

氏名：中島千代（山口大学医学部 平成22年卒）
専門：上部消化管外科、胃外科

診療助教

氏名：藤原康弘（山口大学医学部 平成22年卒）
専門：下部消化管外科

診療助教

氏名：木村祐太（鹿児島大学医学部 平成22年卒）
専門：肝胆膵外科

診療助教

氏名：山本常則（山口大学医学部 平成22年卒）
専門：上部消化管外科、胃外科

診療助教

氏名：堤 甲輔（山口大学医学部 平成29年卒）

大学院生

氏名：太田啓介（山口大学医学部 平成25年卒）

大学院生

氏名：鄭 桓宇（中国遼寧何氏医学院 平成26年卒）

大学院生

氏名：鍋屋まり（山口大学医学部 平成26年卒）

大学院生

氏名：小佐々 貴博（山口大学医学部 平成27年卒）

大学院生

氏名：兼定 弦（山口大学医学部 平成27年卒）

大学院生

氏名：西田 裕紀（山口大学医学部 平成28年卒）

学会専門医、指導医、評議員リスト

(2023年12月31日時点)

日本外科学会

専門医：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、前田訓子、友近 忍、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎
松井洋人、西山光郎、中島正夫、山田健介、中島千代、山本常則、周山理紗、徳久晃弘、太田啓介、兼定 航
古谷 圭、小佐々 貴博、兼定 弦、西田 裕紀、鍋屋まり、濱崎太郎、堤 甲輔

指導医：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎

代議員：

永野浩昭、武田 茂、前田訓子

日本消化器外科学会

専門医：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、友近 忍、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎
西山光郎、中島正夫、中島千代、山本常則、木村裕太、小佐々 貴博、兼定 弦、西田裕紀、太田啓介

指導医：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、西山光郎
中島正夫、中島千代

理事・評議員：

永野浩昭

日本消化器病学会

専門医・指導医：

永野浩昭、井岡達也

執行評議員：

永野浩昭

学会評議員：

井岡達也

日本癌治療学会

臨床試験登録医：

永野浩昭

理事・代議員：

永野浩昭

日本癌学会

評議員：

永野浩昭、恒富亮一

日本臨床外科学会

評議員：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明

日本内視鏡外科学会

技術認定医：

武田 茂 (食道)、渡邊裕策 (食道)、鈴木伸明 (大腸)、友近 忍 (大腸)、飯田通久 (胃)、中島千代 (胃)
徳光幸生 (肝臓)、中島正夫 (肝臓)

評議員：

永野浩昭

日本胃癌学会

代議員：

永野浩昭、武田 茂、飯田通久

日本食道学会

認定医：

武田 茂、西山光郎

専門医：

武田 茂、西山光郎

評議員：

永野浩昭、武田 茂

日本肝胆膵外科学会

高度技能専門医：

新藤芳太郎

評議員：

徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫

高度技能指導医・理事・評議員：

永野浩昭

日本肝臓学会

専門医・指導医：

永野浩昭、徳光幸生

評議員：

永野浩昭

日本胆道学会

指導医・評議員：

永野浩昭、井岡達也

日本膵臓学会

指導医・評議員：

永野浩昭、井岡達也

日本乳癌学会

認定医・専門医・指導医：

前田訓子、周山理紗

評議員：

前田訓子

日本腹部救急医学会

腹部救急認定医：

徳光幸生、徳久晃弘、西田裕紀

評議員：

永野浩昭、徳光幸生

日本外科感染症学会

Infection Control Doctor

武田 茂、西山光郎

外科周術期感染管理認定医

評議員：

武田 茂

日本臨床腫瘍学会

がん薬物療法専門医・指導医・協議員：

井岡達也

がん薬物療法専門医：

松井洋人

日本がん治療認定医機構

認定医：

永野浩昭、井岡達也、武田 茂

前田訓子、渡邊裕策、徳光幸生

西山光郎、中島千代、山本常則

日本消化器内視鏡学会

消化器内視鏡専門医・指導医：

井岡達也

日本消化器がん検診学会

代議員・認定医（肝胆膵）・指導医：

井岡達也

日本腫瘍循環器学会

評議員：

井岡達也

2023年 年間行事



山口きらら博記念公園（山口市）

1月 互礼会



永野浩昭教授から新年のご訓示後に、各班のチーフの先生よりご挨拶いただきました。



武田 茂 先生
(上部消化管)



鈴木伸明 先生
(下部消化管)



前田訓子 先生
(乳腺・内分泌)



井岡達也 先生
(化学療法)



恒富亮一 先生
(研究)

1月 第2回 Surgical Training Seminar



永野教授

佐藤先生
(獣医学部)

谷先生
(獣医学部)

渡邊先生



サポートを受けつつも研修医が主体となって手術を行いました

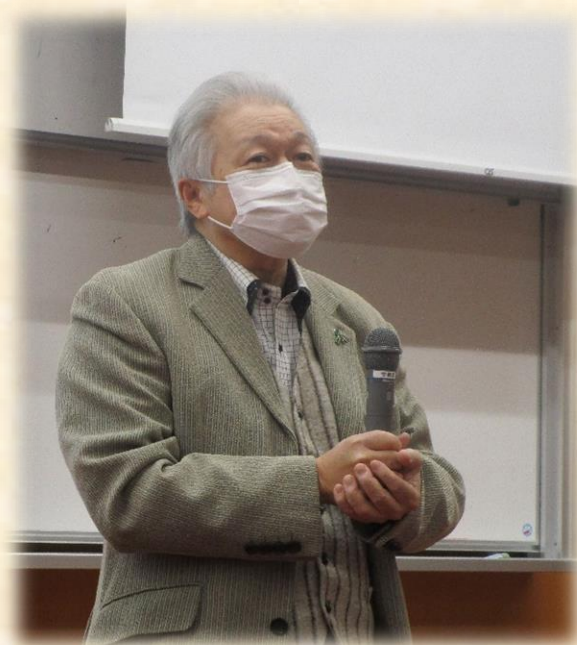


参加者にとって非常に有意義な実習になりました。お疲れ様でした。

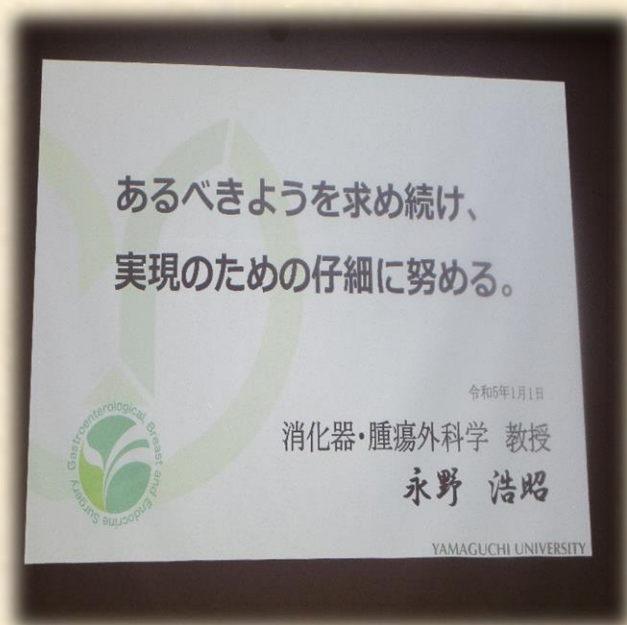
2月 Clinical & Research conference



新年、新たな気持ちで今年のご目標・抱負を表明。
各々から研究発表を行いました。



永野教授の総括



永野教授の2023年度のご訓示

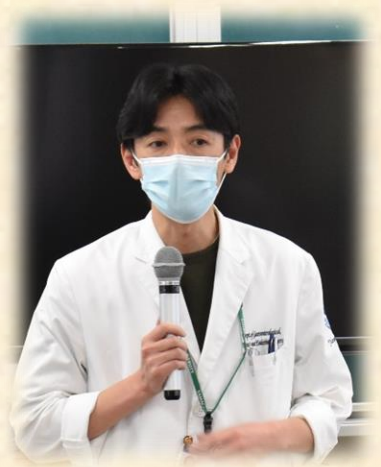
3月 第3回 Clinical Cadaver Surgical Training



永野教授



ノビウル先生
(神経解剖学講座)



渡邊先生



鈴木先生によるご指導



上部消化管の解剖確認



医師・学生ともに有意義な実習になりました。お疲れ様でした。

3月 送別会



山田先生⇒小野田赤十字病院



兼定航先生⇒川崎医科大学



古谷先生⇒宇部興産中央病院



佐伯先生⇒関門医療センター



梅野先生⇒宇部興産中央病院



新天地でのご活躍とご健勝を祈念いたします。

4月 新体制発足



山口県立総合医療センターより
化学療法班に田島先生が赴任



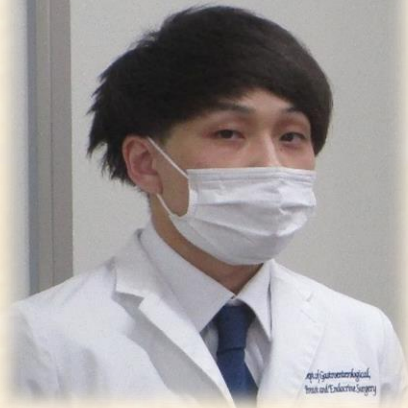
セントヒル病院より
木村先生が赴任



小野田赤十字病院より
藤原先生が赴任



新入局員の周山先生



八幡浜総合病院より瀧崎
先生が赴任



新年度の永野教授のご挨拶

5月 青山会総会



昨年はweb開催でしたが今年は現地開催です。



中島千代先生が青山会賞を受賞されました。



勉強会では活発な討論がなされました。



多数のご参加大変有難うございました！

6月 キャリアナビゲーション



医学部生を対象に第二外科の医局説明を行いました。

6月 早期外科体験実習 (ESS)

医学部2年生の必修カリキュラムとして
結紮、縫合など早期外科実習を行いました。



将来一人でも多くの外科医が増えることを願っています。

6月 医局説明会



研修医、学生に向けて医局説明会を行いました。



中島千代先生、山本先生による医局説明が行われました。



山口の外科の未来を若い力で支えて行ってくれることを期待しています。

7月 消化器外科学会現地同門会



現地同門会に先立ち、学会特別企画の打ち上げです。



久々の現地同門会、函館の地で大変盛り上がりました。

7月 研究者発表会議 & 医局納涼会



永野教授のご挨拶



上半期の臨床・研究の成果報告



発表会議も終わり、みなさん盛り上がっていました。



9月 歓送迎会



永野教授から異動の先生へのお言葉



鈴木先生⇒八幡浜総合病院



田島先生⇒山口県立
総合医療センター



セントヒル病院より
田中先生が赴任



徳久先生⇒セントヒル病院



鈴木先生、田島先生、徳久先生、大学勤務お疲れ様でした。

11月 医局説明会



研修医、学生に向けて医局説明会を行いました。



勧誘隊長の山本先生をはじめ濱崎先生、新入局予定の矢々部先生による医局説明



将来一緒に外科医として働けることを期待しています。

12月 忘年会



永野教授の挨拶



井岡先生の挨拶



病棟スタッフも参加し、大変盛り上がりました。



皆さま、1年間本当にお疲れ様でした。

ゲスト写真集



亀井 尚 先生 (東北大学)



木川 雄一郎 先生 (関西医科大学)



増田 慎三 先生 (名古屋大学)



池田 正孝 先生（兵庫医科大学）



松田 諭 先生（慶應義塾大学）



河池 茂行 先生（東京医科大学八王子医療センター）



富丸 慶人 先生 (大阪大学)



藤井 努 先生 (富山大学)



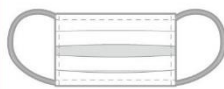
川井 学 先生 (和歌山県立医科大学)

新型コロナウイルス感染を考慮し
下記の各イベントは残念ながら中止となりました。

7月：医局旅行

新型コロナウイルス 対策中

当院は患者様とスタッフの健康を守るため
ウイルスに対する安全策を積極的に行っております



スタッフの
マスク着用



手洗いの徹底



院内の除菌消毒



定期的な換気

感染しない・感染させない

一人一人の心がけが世界を救います

新型コロナウイルス感染拡大が1日でも早く収束に向かい
すべてのイベント開催を行えることを願っています。

編集後記

2023年、約3年にわたるコロナ禍での行動制限から解放され日常生活を取り戻せたことは多くの国民にとって明るい話題であった。WBCで「侍ジャパン」が3大会ぶり3度目の優勝を飾るなど、日本中が沸き立つニュースもあった。もちろん、良いニュースばかりではなかったが、序盤からChatGPTをはじめとする生成AIの加速度的な普及、そして企業界全体で積極的に導入が検討・推進され「生成AI元年」とも呼べる盛り上がりを見せるなど、新時代の到来を予感させた。しかし、2024年は元旦に震度7の能登半島地震が発生、さらに翌日には羽田空港で日航機と海上保安機が衝突炎上するなど、波乱の幕開けとなった。被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。さて、今年7月には山口県下関市で第79回日本消化器外科学会総会を開催予定であり、目下のところ教室員一同準備を進めているところである。今回の総会のテーマは「集い、紡ぐ」であり、是非多くの先生方に現地に集い外科学の将来への想いを紡いで頂き、未来への「懸け橋」として頂きたい。ところで橋といえば、山口県には西と東に新旧二大橋梁、角島大橋と錦帯橋がある。西は下関市北部、白い砂浜とコバルトブルーの海が広がる絶景が見どころの角島大橋は、テレビCMやロケ地にたびたび登場することで話題となっている。一方の錦帯橋は東の岩国市、錦川に架橋された5連の木造アーチ橋で、日本三名橋、日本三大奇橋に数えられており名勝にも指定されている。山口の東西、まさに端と橋を巡る旅、是非トライしてみては？（ただし山口県は横に長いです）

令和6年5月

徳光 幸生



UBEビエンナーレ彫刻（宇部市）

**山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 教室年報：2023**

令和6年9月発行

発行 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

編集責任者 徳光幸生

編集委員 中島正夫 西田裕紀 堤 甲輔

TEL : 0836-22-2264

FAX : 0836-22-2263

ホームページ : <http://www.yamadai-gesurgery.jp/>